

平成 28 年度

知床国立公園知床五湖における利用者意向等

調査業務報告書

Survey report on user's intention of summer wise use of Shiretoko-goko lakes in  
Shiretoko National Park.

平成 28 年 12 月

環境省釧路自然環境事務所

平成 28 年度  
知床国立公園知床五湖における利用者意向等  
調査業務報告書

Survey report on user's intention of summer wise use of Shiretoko-goko lakes in  
Shiretoko National Park.

目 次

<b>1. 調査名（英名）</b>	<b>1</b>
1-2. 調査背景および目的	1
1-3. 調査実施体制	1
1-3-1. アンケート調査の手法検討	1
1-3-2. 調査票の翻訳	1
1-3-3. ヒグマ活動期におけるアンケートの実施	2
1-3-4. 植生保護期におけるアンケートの実施	2
1-4. 配布と回収について	2
1-4-1. ヒグマ活動期	2
1-4-2. 植生保護期	2
1-4-3. その他	2
1-5. 調査結果について	3
1-5-1. 調査結果および比較	3
1-5-2. 既往調査との比較	3
1-5-3. 外国人のヒグマに関する意識調査	3
1-5-4. 調査結果の報告	3
1-5-5. 調査を終えて	3
<b>2. アンケート調査票</b>	<b>4</b>
2-1. 英語	5
2-2. 簡体字	6
2-2. 繁体字	7
<b>3. ヒグマ活動期調査結果</b>	<b>8</b>
3-1. 参加者属性性別	8
3-2. 参加者属性年齢	8
3-3. 参加者属性国および地域（国籍）	9
3-4. 参加者旅行形態	10
3-5. 日本への来訪回数	10

3-6. 知床五湖への来訪回数	11
3-7. 【複数回答】知床で訪れたすべての場所	11
3-8. 【複数回答】なぜ日本を訪れたいと思いましたか	12
3-9. 【複数回答】なぜ知床五湖へ訪れたいと思いましたか	13
3-10. 知床五湖までの交通手段	13
3-11. 【複数回答】知床五湖についての情報入手先	14
3-12. ヒグマ活動期の制度の認知度について	15
3-13. ガイドツアーへの申込み方法	15
3-14. ヒグマ活動期の取組みについて	16
3-15. 知床五湖での言語対応は良いか	16
3-16. 知床五湖を利用した感想	17
<b>4. 植生保護期調査結果</b>	<b>19</b>
4-1. 参加者属性性別	19
4-2. 参加者属性年齢	19
4-3. 参加者属性国および地域（国籍）	20
4-4. 参加者旅行形態	20
4-5. 日本への来訪回数	21
4-6. 知床五湖への来訪回数	21
4-7. 【複数回答】知床で訪れたすべての場所	22
4-8. 【複数回答】なぜ日本を訪れたいと思いましたか	23
4-9. 【複数回答】なぜ知床五湖へ訪れたいと思いましたか	24
4-10. 知床五湖までの交通手段	24
4-11. 【複数回答】知床五湖についての情報入手先	25
4-12. 植生保護期の制度の認知度について	26
4-13. 植生保護期の取組みについて	26
4-14. 選択した遊歩道	27
4-15. 知床五湖での言語対応は良いか	27
4-16. 知床五湖を利用した感想	28
<b>5. ヒグマ活動期と植生保護期の結果および考察</b>	<b>29</b>
5-1. 参加者属性性別	29
5-2. 参加者属性年齢	30
5-3. 参加者属性国および地域（国籍）	31
5-4. 参加者旅行形態	32
5-5. 知床で訪れたすべての場所	32
5-6. 知床五湖までの交通手段	33

5-7. 知床五湖についての情報入手先	34
5-8. それぞれの期間の制度の認知度について	35
5-9. 知床五湖を利用した感想（地上遊歩道で混雑を感じたか）	35
5-10. 知床五湖を利用した感想（原生的で静寂な場所を満喫できたか）	36
5-11. 知床五湖を利用した感想（家族や友人に紹介したい）	37
5-12. 返信封筒の消印	37
<b>6. 既往調査結果との比較</b>	<b>38</b>
6-1. ヒグマ活動期における知床五湖への来訪回数	38
6-2. ヒグマ活動期における制度の認知度	39
6-3. ヒグマ活動期における取組み理解	39
6-4. ヒグマ活動期における遊歩道内の混雑感	39
6-5. ヒグマ活動期における静寂および原生的雰囲気	40
6-6. ヒグマ活動期における知床五湖を家族や知人に紹介したいか	40
6-7. ヒグマ活動期における参加者年齢	40
6-8. 植生保護期における知床五湖への来訪回数	41
6-9. 植生保護期における制度の認知度	41
6-10. 植生保護期における取組み理解	41
6-11. 植生保護期における静寂および原生的雰囲気	42
6-12. 植生保護期における知床五湖を家族や知人に紹介したいか	42
6-13. 植生保護期における参加者年齢	42
6-14. 小括	43
<b>7. 外国人のヒグマへの意識</b>	<b>44</b>
<b>8. 調査結果の報告</b>	<b>47</b>
<b>9. 調査を終えて</b>	<b>49</b>
<b>10. 今後の予定、その他</b>	<b>50</b>
<b>11. Summary</b>	<b>50</b>

## 1. 調査名（英名）

平成 28 年度知床国立公園知床五湖における利用者意向等調査業務

(Survey report on user's intention of summer wise use of Shiretoko-goko lakes in Shiretoko National Park.)

### 1-2. 調査背景および目的

知床国立公園の主要な利用拠点である知床五湖地区では、平成 23 年度より知床五湖利用調整地区制度を導入し、利用の適正化対策を講じている。五湖園地入口から第一湖湖畔までは高架木道を整備した一方で、地上遊歩道においては夏期のヒグマ活動期（5 月 10 日～7 月 31 日）はヒグマ対処法を身につけた登録引率者の同行を、春期・秋期の植生保護期は事前のレクチャー受講を義務付け、安全・安定的な利用機会の提供と自然環境保全の両立にむけた取組が実施されている。

この取組を評価するため、平成 22 年度より知床五湖地区における利用者意向調査が行われ、利用者評価は概ね上昇している。

一方で、近年知床国立公園においては外国人利用者が急増しており、知床五湖地区も同様の傾向にあり、ヒグマ活動期の過去 3 年間の外国人参加人数は、平成 26 年度は 1,265 人、平成 27 年度は 2,156 人、平成 28 年度 2,758 人と増加が認められた。参加者全体の外国人比率も増加しており、平成 26 年度は 12%だったが、平成 27 年度は 19%、平成 28 年度は 22%となり、今後も増加傾向が続くと考えられる。しかし、これまでに夏期の知床五湖の利用のあり方について外国人に対しアンケート調査を行った事例はない。

本業務は、知床五湖の利用のあり方に関連して急増する外国人利用者の基礎情報を収集し、課題を整理することを目的として、知床五湖の利用のあり方に対する外国人利用者による評価を把握するためのアンケート調査を実施したものである。

### 1-3. 調査実施体制

#### 1-3-1. アンケート調査の手法検討

調査での設問内容や実施手法について、「平成 27 年度知床国立公園知床五湖利用適正化検討業務」の成果を基本として知床地域で実施された既往調査も参考に検討し、環境省担当官と調査前に打ち合わせの上（ウトロ自然保護官事務所計 2 回）、北海道大学大学院農学研究院愛甲哲也准教授にも助言をいただきながら細部を調整した。なお、地元の関係団体の協力を得ての調査実施を想定し、設問や方法の検討にあたっては地元関係団体等の意向も踏まえることとした。

#### 1-3-2. 調査票の翻訳

1-3-1. の検討結果を踏まえ、「平成 27 年度知床国立公園知床五湖利用適正化検討業務」の成果（日本語、英語）をもととしたアンケート票を外国語に翻訳した。翻訳言語は英語のほか、中国語（簡体字、繁体字）とした。なお、ヒグマ活動期と植生保護期では制度が

異なる部分があるため、それぞれの制度に見合うよう内容の一部を変更している。それぞれのアンケート票を pp. 4-9 に示す。問 6. が制度別に入替えを実施した設問である。問 12. 以降はヒグマに関する設問で、植生保護期のみのアンケート票に記載している。

### 1-3-3. ヒグマ活動期におけるアンケートの実施

平成 28 年 6~7 月のヒグマ活動期間中に知床五湖登録引率者や知床五湖フィールドハウスの協力のもと、地上遊歩道利用者を対象としたアンケートを実施した。アンケートについては、設問量は A4 用紙 3 枚、計 12 設問とし、アンケートの実施にあたっては、アンケート用紙を現地で参加者に配布の上、調査対象者に回答を記入してもらい現地で回収する対面配布現地回収方式と、郵送（国内郵便）にて回収する郵送回収方式の複合調査とした。

### 1-3-4. 植生保護期におけるアンケートの実施

平成 28 年 9~10 月の植生保護期間中に知床五湖フィールドハウスの協力のもと、地上遊歩道利用者および高架木道を対象としたアンケートを実施した。ヒグマへの遭遇や観察に関する設問を付加させたため、ヒグマ活動期より設問量は増え、A4 用紙 4 枚、計 14 設問となった。アンケート用紙は現地で参加者に配布の上、郵送（国内郵便）にて回収する方法とした。

## 1-4. 配布と回収について

### 1-4-1. ヒグマ活動期

アンケート票は 6 月 30 日から 7 月 28 日までの 29 日間配布をおこなった。対面配布現地回収方式では英語 142 枚、繁体字 81 枚、簡体字 66 枚の計 289 枚を回収した。郵送回収方式では英語のみ 6 枚を回収した。

### 1-4-2. 植生保護期

アンケート票は 8 月 30 日から 9 月 27 日までの 29 日間、地上遊歩道へ入場した外国人参加者へ 300 枚を配布した（英語 200 枚、繁体字 50 枚、簡体字 50 枚）。またその他にも、同一期間中に高架木道のみ利用する外国人参加者に向け 4 日間で計 60 枚を配布した（英語 40 部、繁体字 7 部、簡体字 13 部）。回収は郵送にて英語 60 枚、繁体字 9 枚、簡体字 1 枚の計 70 枚を回収した。回収率は 19.4%であった。

### 1-4-3. その他

一般的に、簡体字は中国本土、繁体字は香港、マカオ、台湾、英語はそれ以外の地域で使用されていることを前提に調査票を配布したが、参加者の外見では判断することが難しく、それぞれの国や地域に合致しない言語を配布する事例も見受けられた。しかし回収してみると、中国本土からの参加者が繁体字や英語のアンケートに回答していたほか、香港

からの参加者が簡体字のアンケートに回答していたり、台湾からの参加者が簡体字や英語のアンケートに回答していた。

## 1-5. 調査結果について

### 1-5-1. 調査結果および比較

ヒグマ活動期および植生保護期アンケートを取りまとめた後、それぞれを比較した。ただし、同じような結果の設問は比較せず、ある程度の差が見られたり、注目すべき設問に関して比較や考察をした。さらに、郵送による回収では、投函先の消印で参加者の移動がわかるため、判別できる範囲で読取りをした。

### 1-5-2. 既往調査との比較

平成 24 年度から蓄積された日本人対象のアンケート結果と属性や意識の差を比較した。すべての項目が共通しているものではないが、共通している設問にて属性や意識の差についてクロス表を作成し、フィッシャーの直接確率を用い検定した。

### 1-5-3. 外国人のヒグマに関する意識調査

植生保護期のアンケートにて採取した外国人のヒグマに関する意識調査をまとめた。

### 1-5-4. 調査結果の報告

調査結果を速報としてとりまとめ、11月25日に開催された第25回知床五湖登録引率者審査部会で報告するための資料を作成し報告した。また、12月22日に開催される35回知床五湖利用のあり方協議会で北国するための資料を作成した。

さらに、報告に対する登録引率者の意見をとりとまとめた。

### 1-5-5. 調査を終えて

外国人参加者へ向けたアンケートを実施するにあたり、今回の反省や課題を示した。

## 2. アンケート調査票

次ページから英語、繁体字、簡体字の順でそれぞれの言語のアンケート票を示す。アンケート票にはヒグマ活動期と植生保護期すべての設問を含んでいる。なお、票中の青色ラインはヒグマ活動期の設問、黄色ラインは植生保護期の設問を示す。配布時にはそれぞれの期の制度に合うよう設問を入替え使用した。



Survey on the conservation and appropriate use of Shiretoko

Goko Lakes

Conducted by the Ministry of the Environment, Japan

It is to help improve the conservation of the natural environment and appropriate use of Goko Lakes. Please drop the completed questionnaire in any postbox in Japan provided. No stamp is required. Results will not be published individually, so you will be anonymous. We sincerely appreciate your cooperation.

Q1 How many times have you visited Japan/Shiretoko Goko? Please check (✓) one for each category.

the...	...1 <sup>st</sup> visit	...2 <sup>nd</sup> visit	...3 <sup>rd</sup> visit	...4 <sup>th</sup> visit	...5 <sup>th</sup> visit
Shiretoko Goko					

Q2 For what purpose(s) did you visit Japan this time? Please check (✓) all that apply.

- To see wildlife
- To enjoy the natural scenery
- To enjoy traditional culture
- To enjoy contemporary culture
- To enjoy shopping
- To see movie/TV drama filming locations
- To enjoy outdoor activities
- To enjoy Japanese food
- No special purpose
- Other (Please specify: \_\_\_\_\_)

Q3-1 Did you visit Shiretoko this time? Please check (✓) all that apply.

- Kamuiwakka Water fall
- Sightseeing boat (Utoro-Mt. Iou)
- Sightseeing boat (Utoro-Shiretoko Cape)
- Furouze Water fall
- Shiretoko Nature Center
- Shiretoko World Heritage Conservation Centre
- Shiretoko Pass
- Mt. Rausu (Climbing)
- Lake Rausu
- Kumanoyu Hot Springs
- Sightseeing boat (Rausu aria)
- Rausu Roadside station
- Rausu Visitor Center
- Rausu Field House

Q3-2 For what purpose(s) did you visit Shiretoko Goko Lakes? Please check (✓) all that apply.

- To see wildlife (Sika deer, wild birds, etc.)
- To see plants (flowers/trees)
- To see the brown bears
- To seek calm
- Because it was included in the package tour
- For hiking or mountain climbing
- To enjoy the scenery of its wilderness
- Because it is a World Heritage site
- No special purpose
- Other (Please specify: \_\_\_\_\_)

Q8 What do you think about the new system in Shiretoko Goko Lakes? Please check (✓) one only.

- Strongly desirable
- Desirable
- Neutral
- Undesirable
- Strongly undesirable
- Other: \_\_\_\_\_

Q9 How did you find the multilingual support? Please circle only one number for each category.

	Strongly disagree	Somewhat disagree	Neutral	Somewhat agree	Strongly agree
Staff guidance was easy to understand.	1	2	3	4	5
Signs and brochures were easy to understand.	1	2	3	4	5
For Visitors in Bear aware season: Guide briefing and interpretations during the tour were easy to understand.	1	2	3	4	5
For Visitors in Ecosystem aware season: Procedures and lecture were easy to understand.	1	2	3	4	5

Q10 How did you find the Shiretoko experience? Please circle only one number

	Strongly disagree	Somewhat disagree	Neutral	Somewhat agree	Strongly agree
I felt congestion/crowding because many visitors were walking the ground path.	1	2	3	4	5
I could fully enjoy the primeval and calm nature of the Shiretoko Goko Lakes.	1	2	3	4	5
I want to visit Shiretoko Goko again.	1	2	3	4	5
I would like to introduce Shiretoko Goko to family and friends.	1	2	3	4	5

How we will ask you about brown bears.

Q11 When you see brown bears in the tourist areas of Shiretoko, how do you think each of the following human behaviors would change the bears' behaviors or cause accidents between bears and people? Choose a number from 1-5 for each question, and put a circle around it.

	Major impact	Neutral	Minor impact		
Stay on the place where bears frequently appear over long periods of time.	1	2	3	4	5

Q4 How did you get to Shiretoko Goko Lakes? Please check (✓) all that apply.

- Private Car
- Package tour bus
- Public bus (Shuttle bus)
- Motorcycle
- Bicycle
- Rental Car
- Taxi
- Pick-up by guided tour
- Other: \_\_\_\_\_

Q5 How did you get information about Shiretoko Goko Lakes? Please check (✓) all that apply.

- Via the Shiretoko Goko Lakes Website
- Via Social Networking Sites (SNS)
- Via Japanese tourism portal sites
- From a guide book
- From friends or acquaintances
- I got information after arriving in Shiretoko
- I didn't get any information
- Other (Please specify: \_\_\_\_\_)

A new system has been established at Shiretoko Goko Lakes: rules for using the ground pathway.  
**Bear aware season (10 MAY- 31 JUL):** brown bears are at their most active during this season, so visitors must join one of the tours led by a licensed Shiretoko Goko Guide.  
**Ecosystem aware season (APR-9 MAY & 1 AUG- 20 OCT):** advance booking and a lecture are required.

Q6 Did you already know about this new system? Please check (✓) one.

- Yes, I already knew about the new system before I came to Shiretoko
- Yes, I found out about the new system after arriving at Shiretoko
- No, I didn't know about the new system

Q7 For visitors in Bear aware season - May 10 to July 31

How did you reserve this tour? Please check (✓) one for each item.

- It was already included in the package tour
- From the Shiretoko Goko Lakes Website
- Reserved by E-mail/phone to guide office
- Requested at Shiretoko Goko Field House
- I didn't know
- Other (Please specify: \_\_\_\_\_)

Q7 (For visitors in Ecosystem aware season - Park opening to May 9 & August 1 to October 20)

Did you walk the ground pathway after taking the lecture in Shiretoko Goko Field House today?

Please check (✓) one for each item.

- No, I walked the Elevated wooden path only.
- Yes, after taking the lecture I walked the:  Short-route  Long-route

Food and leftovers within bears' reach	1	2	3	4
Use a car to watch bears on the roadway	1	2	3	4
Use binoculars to see bears on foot in order to see them.	1	2	3	4
Feed bears (intentionally toss/give food)	1	2	3	4
Run away from people	1	2	3	4
Throw sticks (stones, twigs, etc.) towards bears	1	2	3	4

Q12 When you watch brown bears in various places of Shiretoko, how much distance or what kind of situation is acceptable for you? Choose a number from 1-5 for each question, and put a circle around it.

	Not acceptable	1	2	3	4	5	Acc
Watch bears with the naked eye from a walking path or within 100m away from them.	1	2	3	4	5		
Watch bears with the naked eye or through a binocular walking path or road beyond 100m away from them.	1	2	3	4	5		
Watch bears with the naked eye or through a binocular walking path beyond 100m away from them, guided by guides and administrators.	1	2	3	4	5		
Watch bears far away from the road (on the slope of a hill / under a bridge) with the naked eye or a binocular.	1	2	3	4	5		
Watch bears along the road from a bus/car window.	1	2	3	4	5		
Watch bears under the Shiretoko Goko elevated boardwalk (2-5m, electric fences installed) from the road.	1	2	3	4	5		
Watch bears from a sightseeing ship and see bears on land from the ship.	1	2	3	4	5		

Q13 Please check (✓) one or write response for each item.

- Gender:  Male  Female Nationality: \_\_\_\_\_ Current residence: \_\_\_\_\_
- Age:  10-19  20-29  30-39  40-49  50-59  60-69  70 or above
- Travel style:  We made our own travel arrangements  We joined an organized group/package tour
- Other: \_\_\_\_\_

## 关于知床五湖的利用现状的问卷调查 (中文简体)

调查实施团体 环境省钏路自然环境事务所

本问卷调查的目的是为了探讨如何保护知床五湖的自然环境和可持续地利用。请率两年之后请就您继续投入调查。调查的内容不会公开。敬请配合！

问1 到目前为止,您总共访问日本、知床五湖几次?请圈选一个合适的答案的数字。

日本	1. 第一次	2. 第二次	3. 第三次	4. 1-4次	5. 五次以上
知床五湖	1. 第一次	2. 第二次	3. 第三次	4. 第四次	5. 五次以上

问2 请问您这次访问过什么地方?请圈选所有合适的答案的数字。

日本	1. 神之水温泉瀑布	2. 粟光船(宇里岳~碓冰山)	3. 粟光船(宇里岳~知床岬)	4. 1889年瀑布	5. 知床自然中心	6. 知床世界遗产中心·休息站宇里岳	7. 知床峠	8. 罗臼岳(望山)	9. 罗臼湖	10. 熊之汤	11. 粟光船(罗臼方面)	12. 休息站罗臼	13. 罗臼粟光中心	14. Rusa Field House
----	------------	-----------------	-----------------	------------	-----------	--------------------	--------	------------	--------	---------	---------------	-----------	------------	----------------------

问3 您这次访问日本、知床五湖的契机是什么?请圈选所有合适的答案的数字。

日本	1. 为了看野生动物	2. 为了欣赏原生态的风景	3. 享受传统文化	4. 享受现代文化	5. 购物	6. 访问电影或电视剧的拍摄地	7. 享受户外活动	8. 享受烹饪	9. 享受烹饪	10. 没有什么特别的原因	11. 其他( )
知床五湖	1. 为了看野生动物(日本黑熊/野鸟等)	2. 为了看野生植物(草花·树木等)	3. 为了看风景	4. 为了了解或登山	5. 因为旅游团的行程安排	6. 考虑狩猎	7. 为了欣赏原生态的风景	8. 因为这里是世界遗产	9. 没有什么特别的原因	10. 其他( )	

问4 您通常用什么交通工具来到知床五湖的停车场?请圈选所有合适的答案的数字。

1. 自驾汽车	2. 觀光巴士	3. 定期专线巴士(绿野巴士)	4. 摩托车	5. 自行车
6. 租赁汽车	7. 计程车	8. 旅行社的接送	9. 步行	9. 其他( )

	完全不同意	—	还好	—	完全同意	不知道·没有合适的回答
感觉地上人行道的使用者很多,很拥挤	1.	2.	3.	4.	5.	6.
输掉了原始状态的知床五湖的自然	1.	2.	3.	4.	5.	6.
想要再次访问知床五湖	1.	2.	3.	4.	5.	6.
想向家人或亲戚的朋友介绍知床五湖	1.	2.	3.	4.	5.	6.

以下是关于烦恼的问题。

问1-1 如果在知床的观光道选择时,以下项目中的人员的行动,会对车辆的行动,或您与他人产生冲突带来多大的影响?请在各个项目圈选一个合适的答案的数字。

	影响很少	—	还好	—	影响大
在车辆出发的地方长时间逗留	1.	2.	3.	4.	5.
在车辆可以靠近地方,丢弃食物或吃剩的食物	1.	2.	3.	4.	5.
在道路上为了看风景,下车拍照车辆	1.	2.	3.	4.	5.
为了看风景,自己行走靠近车辆	1.	2.	3.	4.	5.
喂食(放置放下食物,喂食)	1.	2.	3.	4.	5.
造访从人面前远离的车辆	1.	2.	3.	4.	5.
向车辆投扔物品(石头,树枝等)	1.	2.	3.	4.	5.

问1-2 如果您在以下项目中所述的知床的各种各样的场所观赏时,您觉得多远的距离有什么样的情况是可以允许的?请在各个项目圈选一个合适的答案的数字。

	不允许	—	还好	—	可以
用肉眼观察在距离步道或车道100米以内的车辆	1.	2.	3.	4.	5.
从散步道或车道保持100米以上的距离,用肉眼或望远镜观察	1.	2.	3.	4.	5.

关于知床五湖的新设置:因特殊的出设所以有许多道路被封锁,所以在特别活动比较活跃的5月10日到7月31日的期间,只能在接受过如何面对封锁技术的领队引导下才能使用地上人行道。8月1日到10月20日的期间,因为要进行入内认定手续(收费:成人250日元),只有接受认证的利用者才可以使用地上人行道。

问6 您知道这个新的设置吗?请圈选一个合适的答案的数字。

1. 知床之前就已经知道了	2. 刚刚知床之后才知道的	3. 不知道
---------------	---------------	--------

问7 您是通过什么样的方式申请知床五湖地上人行道的旅行预约?请圈选合适的答案的数字。(仅限旅游团预约)

1. 包含在旅游团的行程里	2. 在知床五湖网站预约的	3. 用邮件或电话通过旅行社预约的	4. 在当地申请	5. 不知道	6. 其他( )
---------------	---------------	-------------------	----------	--------	----------

问7 今天您在五湖 Field House 经过时您是否使用了地上人行道的了?请圈选一个合适的答案数字。(仅限旅游团预约)

1. 仅去了高架木道	2. 经过时您只去了二楼二湖和高架木道	3. 经过时您只去了从五湖到一湖的高架木道
------------	---------------------	-----------------------

问8 您觉得知床五湖的预约怎么样?请圈选一个合适的答案的数字。

1. 非常理想	2. 很理想	3. 还好	4. 不理想	5. 非常不理想	6. 其他( )
---------	--------	-------	--------	----------	----------

问9 关于知床五湖的预约的对应您觉得怎么样?请从1-6圈选一个合适的回答。

	完全不同意	—	还好	—	完全同意	不知道·没有合适的回答
窗口的信息很容易理解	1.	2.	3.	4.	5.	6.
招牌或小程序的内容很容易理解	1.	2.	3.	4.	5.	6.
受理的字段和语言很容易理解(包括外语/盲文/触觉地图)	1.	2.	3.	4.	5.	6.
领队的解说详细,沿途中的讲解很容易理解(包括外语)	1.	2.	3.	4.	5.	6.

问10 这一次,访问知床五湖之后,对于以下项目您有什么感觉?请从1-6圈选一个合适的回答。

	1.	2.	3.	4.	5.
从知床五湖的高架木道上(高2-3米,有栏杆)俯瞰下方的风景	1.	2.	3.	4.	5.
乘坐觀光船,从船上俯瞰在湖面上的风景	1.	2.	3.	4.	5.

最后请您关于您自己的问题

问13-1 关于您的性别·年龄,请圈选一个合适的答案的数字。

1. 男性	2. 女性					
1. 10~19岁	2. 20~29岁	3. 30~39岁	4. 40~49岁	5. 50~59岁	6. 60~69岁	7. 70岁以上

问13-2 请问您的国籍、居住地。

国籍( )
居住地( )

问13-3 请问您这次的访问是个人旅行吗?还是跟团旅游团来的?请圈选一个合适的答案的数字。

1. 个人旅行	2. 跟团旅行	3. 其他( )
---------	---------	----------

问卷调查到此结束,感谢您的合作

## 關於知床五湖的利用現狀的問卷調查 (中文繁體)

### 調查實施團體 環境省釧路自然環境事務所

本問卷調查的目的是為了探討知床五湖的自然環境和舒適安全地利用。填寫完畢之後請放進信封投入信箱，答案的內容不會公開，敬請配合！

問1 調查前為止，您總共訪問日本、知床五湖幾次？請圈選一個適合的答案的數字。

日本	1. 第一次	2. 第二次	3. 第三次	4. 第四次	5. 五次以上
知床五湖	1. 第一次	2. 第二次	3. 第三次	4. 第四次	5. 五次以上

問2 請問您這次訪問過什麼地方？請圈選所有適合的答案的數字。

1. 神之水溫泉瀑布 2. 觀光船 (宇登呂~破瀨山) 3. 觀光船 (宇登呂~知床岬) 4. 田PE瀑布 5. 知床自然中心 6. 知床世界遺產中心・休息站宇登呂 7. 知床峠 8. 羅臼岳 (望山) 9. 羅臼湖 10. 熊之湯 11. 觀光船 (羅臼方面) 12. 休息站羅臼 13. 羅臼觀光中心 14. Rise Field House
--

問3 您這次訪問日本、知床五湖的契機是什麼？請圈選所有適合的答案的數字。

日本	1. 為了看野生動物	2. 為了欣賞原生的風景	3. 享受傳統文化	4. 享受現代文化	5. 購物	7. 訪問電影或電視製作的拍攝地	8. 享受野外活動	9. 享受車旅	10. 沒有什麼特別的原因	11. 其他 ( )
知床五湖	1. 為了看野生動物 (日本鹿或野鳥等)	2. 為了看野生植物 (軍花・樹木等)	3. 為了看松檜	4. 為了知道或登山	5. 因為旅遊團的行程安排	6. 尋找野驢	7. 為了欣賞原生的風景	8. 因為這裏是世界遺產	9. 沒有什麼特別的原因	10. 其他 ( )

問4 您最樂意什麼交通工具到知床五湖的停車場的？請圈選所有適合的答案的數字。

1. 自家用車 2. 觀光巴士 3. 定期專車巴士 (接駁巴士) 4. 摩托車 5. 自行車 6. 租賃汽車 7. 計程車 8. 旅行社的接送 9. 步行 9. 其他 ( )
--

問5 您最如何得知知床五湖相關的資訊的？請圈選所有適合的答案的數字。

1. 知床五湖的網站 2. 社交網站 3. 日本觀光官方網站 4. 旅行社手冊 5. 朋友 6. 抵達知床之後 7. 完全沒有觀看就來了 8. 其他 ( )
---

關於知床五湖的新政策：因狩獵的出現所以有許多道路被封鎖，所以在標榜活動比較活躍的5月10日到7月31日的期間，僅能在接受通知何應對檢控技術的訓練的引導之下才能使用地上人行道。8月1日到10月20日的期間，因為要進行入內觀察手續 (收費：成人250日圓)，只有接受訓練的利用者才可以使用地上人行道。

問6 您知道這最新政策嗎？請圈選一個適合的答案的數字。

1. 來知床之前已經知道了 2. 來知床之後才知道的 3. 不知道
---

問7 您是通過什麼樣的方式申請知床五湖地上人行道的旅行行程的？請圈選適合的答案的數字。(僅選擇無誤類別)

1. 存在於旅遊團的行程中 2. 在知床五湖網站預約的 3. 用郵件或電話通過旅行社事務所預約的 4. 在當地申請 5. 不知道 6. 其他 ( )
---

問8 今天您在五湖 Field House 經過預約之後使用了地上人行道了嗎？請圈選一個適合的答案的數字。(僅選擇無誤類別)

1. 僅用了高架木道 2. 經過預約後去了一趟二湖和高架木道 3. 經過預約之後去了從五湖湖一湖和高架木道
---

問9 您覺得知床五湖的新政策怎麼樣？請圈選一個適合的答案的數字。

1. 非常理想 2. 很理想 3. 還好 4. 不理想 5. 非常不理想 6. 其他 ( )
---

問10 關於知床五湖的網頁的新版您覺得怎麼樣？請從1~6圈選一個合適的數字。

	完全不同意	1	2	3	4	5	6	完全同意	不知道・沒有合適的答案
窗口信息很容易理解	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.	6.
折騰或小手冊的內容很容易理解	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.	6.
使用的字體和顏色很容易理解 (印刷用數據) 易懂	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.	6.
相關的事先通知 評定中的理解很容易理解 (印刷用數據) 易懂	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.	6.

問11 這一次，訪問知床五湖之後，對於以下的事項您有什麼感覺？請從1~6圈選一個合適的數字。

	完全不同意	1	2	3	4	5	6	完全同意	不知道・沒有合適的答案
感覺地上人行道的使用很方便 很簡單	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.	6.
飽受了原始靜謐的五湖的大自然	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.	6.
想要再次訪問知床五湖	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.	6.
想向家人或親朋的朋友介紹知床五湖	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.	6.

### 以下為關於狩獵的問題

問11 如果在知床的觀光地選擇狩獵時，以下項目中的人類的行動，會對狩獵的行動，或對個人產生帶來多大的影響？請在各個項目圈選一個適合的答案的數字。

	影響很大	1	2	3	4	5	6	影響不大
在狩獵出發的地方選擇狩獵	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
在狩獵可以靠近地方，擺放食物或吃剩的食物	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
在車道上為了看松檜，下車離開車輛	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
為了看松檜，自己行走靠近松檜	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
野餐 (飲食放下食物、廢棄)	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
丟掉在人前邊際的垃圾	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
將狩獵後仍物品 (石頭、樹枝等)	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.

問12 如果您在以下項目中所列的知床的各種各樣的場所觀察狩獵時，您覺得多遠的距離和什麼樣的情況是可以允許的？請在各個項目圈選一個適合的答案的數字。

	不允許	1	2	3	4	5	6	可以允許
從內側觀察在距離步道或車道100米以內的狩獵	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
從步道或車道保持100米以上的距離，用內視鏡或望遠鏡觀察	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
在距離或管理者的陪同下，從步道或車道保持100米以上的距離，用內視鏡或望遠鏡觀察	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
從內側或望遠鏡觀察在距離車道的山上的斜坡或橋下的狩獵	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
透過巴士或汽車的車窗觀察在車道旁的狩獵	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
從知床五湖的高架木道上 (高2~5米，有電柵欄) 觀察下方的狩獵	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.
乘坐觀光船，從船上觀察在湖地上的狩獵	1.	2.	3.	4.	5.	6.	6.	6.

最後請回答關於您自己的問題

問13-1 關於您的性別・年齡，請圈選一個適合的答案的數字。

1. 男性 2. 女性 1. 10~19歲 2. 20~29歲 3. 30~39歲 4. 40~49歲 5. 50~59歲 6. 60~69歲 7. 70歲以上
--

問13-2 請問您的職業、居住地。

職業 ( ) 居住地 ( )
-------------------

問13-3 請問您這次的訪問是個人旅行嗎？還是隨旅遊團前來的？請圈選一個適合的答案的數字。1. 個人旅行 2. 團體旅行 3. 其他 ( )

問卷調查到此結束。謝謝您的合作

### 3. ヒグマ活動期調査結果

この章では、ヒグマ活動期間に実施したアンケートの回答結果を示す。アンケートは3つの言語で配布回収したが、全体の8割を超えるアジア系参加者からは柔軟な言語対応が見られたため、ここでは言語別に分類せずまとめて集計した。さらに、郵送にて送付されたアンケート票は6枚と少なかったため、これもまとめて集計した。

#### 3-1. 参加者属性性別

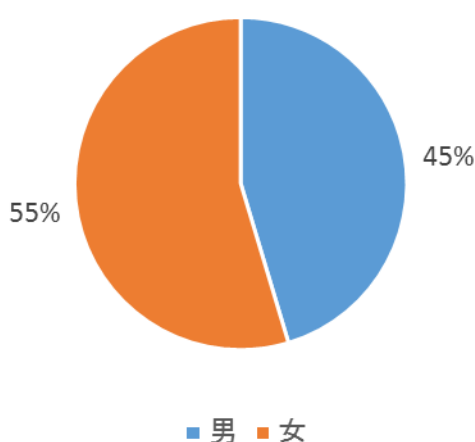


Fig. 1 n=285

参加者の性別を Fig. 1 に示す。男性 127 名、女性 153 名となり、女性参加者の割合が高かった。郵送での回答は男性 2 名、女性 3 名、不明 1 名だった。

#### 3-2. 参加者属性年齢

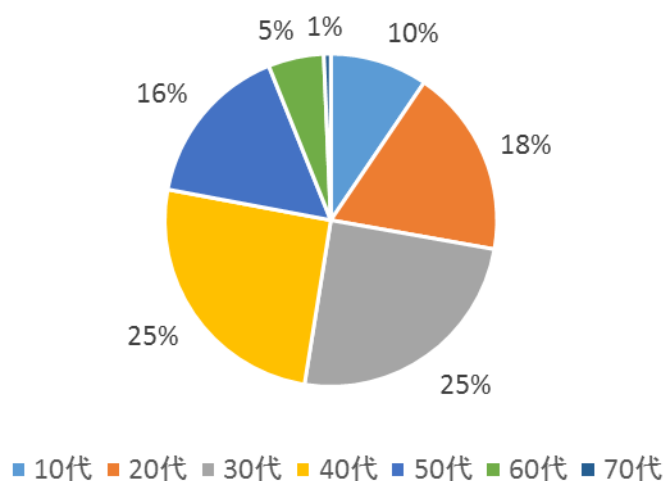


Fig. 2 n=295

参加者の年齢を Fig. 2 に示す。「40代」が一番多く（75名）、次に「30代（73名）」、「20代（54名）」と続いた。10代から40代までが全体の約8割を占め、50代以上は2割に留まった。うち郵送での回答は「30代（3名）」、「50代（2名）」、「60代（1名）」だった。

Table 1

## 3-3. 参加者属性国および地域（国籍）

国・地域	人数	割合%	備考
台湾	78	29.8	
中国	48	18.3	
シンガポール	33	12.6	
香港	19	7.3	
イギリス	16	6.1	
韓国	12	4.6	
タイ	8	3.1	
日本	6	2.3	
アメリカ	7	2.7	
フランス	5	1.9	
ドイツ	4	1.5	
マレーシア	5	1.9	
オランダ	3	1.1	
ベルギー	3	1.1	
イタリア	3	1.1	
デンマーク	3	1.1	
オーストラリア	3	1.1	
その他	6	2.3	カナダ・アイルランド・イタリア・インドネシア・スイス・チェコスロバキア

参加者の国や地域を Table1 に示す。なおアンケートでは「国籍 (Nationality)」と「居住地 (Current residence)」の双方について質問しているが、ここでは「国籍」に対する回答をもとに分類した。その結果、23 の国や地域から参加があった。参加数が一番多かったのは「台湾」で、「中国」、「シンガポール」と続いた。全体ではアジア地域からの参加者が多く 87.5% を占めた。アジアの国や地域が上位を占める中、5 位に「イギリス」が入っているが、これは居住地が香港の参加者が、繁体字や簡体字のアンケートでも「国籍英国、居住地香港」と回答したためである。なお香港からの参加者の中には「国籍香港、居住地香港」という回答や、「国籍中国、居住地香港」という回答もあり、これらについてはそれ

ぞれの国や地域に反映させた。こうした回答をすべて「中国」に集約すると、台湾と中国からの参加者数は大きく変わらない可能性がある。また 8 位に日本が入っているが、配布状況やアンケート票の言語から、海外居住の日本人が回答したと考えられる。うち郵送での回答は台湾とオーストラリアがそれぞれ 2 名、アメリカとマレーシアがそれぞれ 2 名だった。

### 3-4. 参加者旅行形態

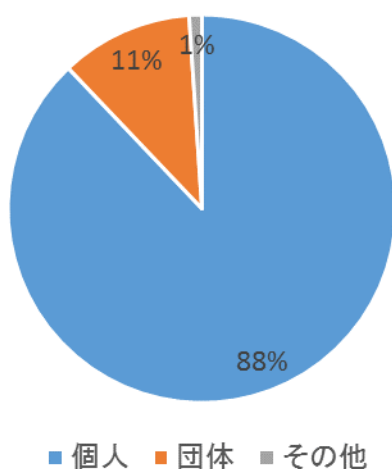


Fig. 3 n=287

域によって参加者数の概念が異なるものと考えられた。うち郵送での回答はすべて個人旅行だった。

参加者の旅行形態を Fig. 3 に示す。「個人旅行」が一番多く（253名）、「団体旅行（31名）」、「その他（3名）」と続いた。調査者側は「団体旅行」という設問は日本式の団体バスによるツアー旅行を想定していたが、回答の中にはレンタカーで移動していても「団体旅行」と回答する参加者がいた。こうした回答は国や地

### 3-5. 日本への来訪回数

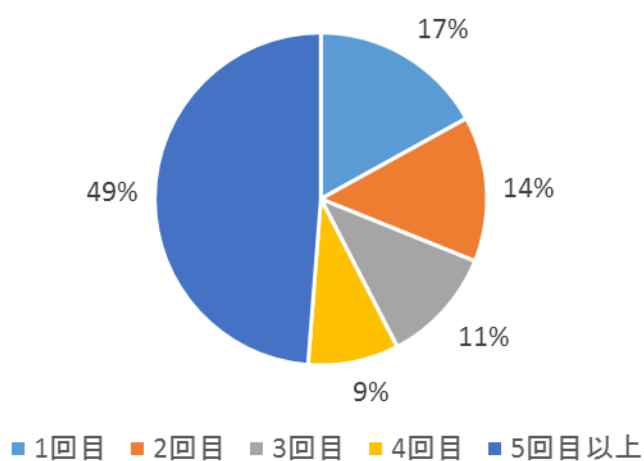


Fig. 4 n=283

日本への来訪回数を Fig. 4 に示す。5回目以上の来訪者が一番多く（138名）、次が「1回目（48名）」、「2回目（40名）」と続いた。5回目以上の参加者の中には日本在住者も含めた（5名）。うち郵送での回答は「5回目以上」が4名、「1回目」と「3回目」がそれぞれ1名だった。

### 3-6. 知床五湖への来訪回数

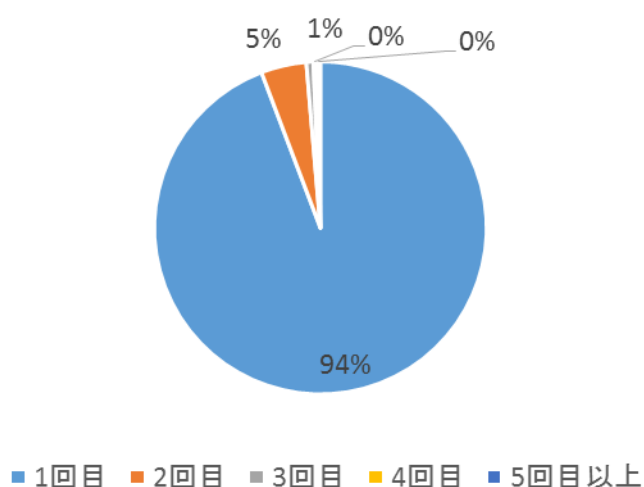


Fig. 5 n = 294

知床五湖への来訪回数を Fig. 5 に示す。「1回目」の来訪者が一番多く（277名）、ほとんどの来訪者が1回目だった。次が「2回目（13名）」、「3回目（2名）」と続き、「4回目」や「5回目」以上の来訪者はそれぞれ1名だった。うち郵送での回答はすべて「1回目（6名）」だった。

### 3-7. 【複数回答】知床で訪れたすべての場所

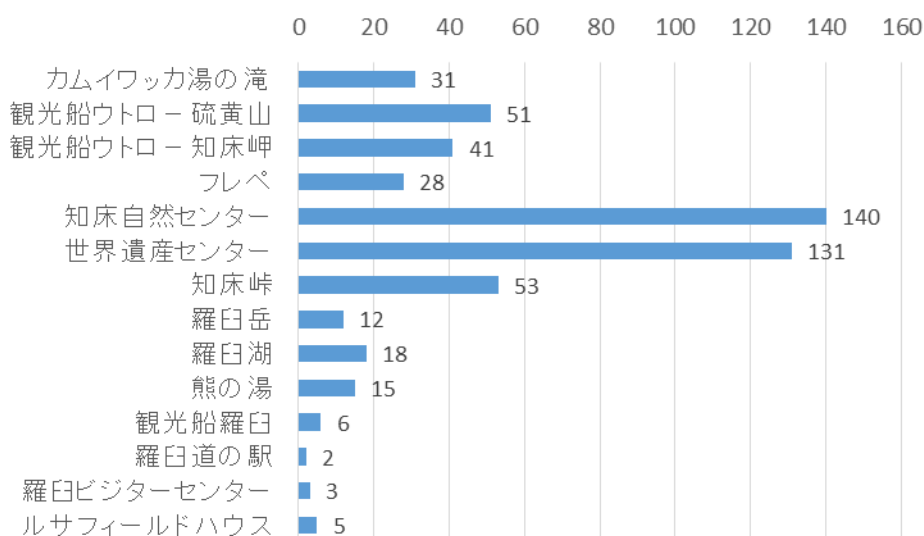


Fig. 6 MA=536

知床で訪れたすべての場所を Fig. 6 に示す。回答は複数回答である。多い順に、「知床自然センター」、「世界遺産センター」、「知床岬」と続いた。訪問先を斜里側と羅臼側で比較すると（知床岬・羅臼岳を除く）、羅臼側への訪問は全体の10.4%に留まった。なおこの設問には未回答も多く、アンケート総数295票に対して全体の17.6%（52票）が未回答だった。こうした回答者は知床に来て最初に知床五湖へ訪れたと推定される。

### 3-8. 【複数回答】なぜ日本を訪れたいと思いましたが

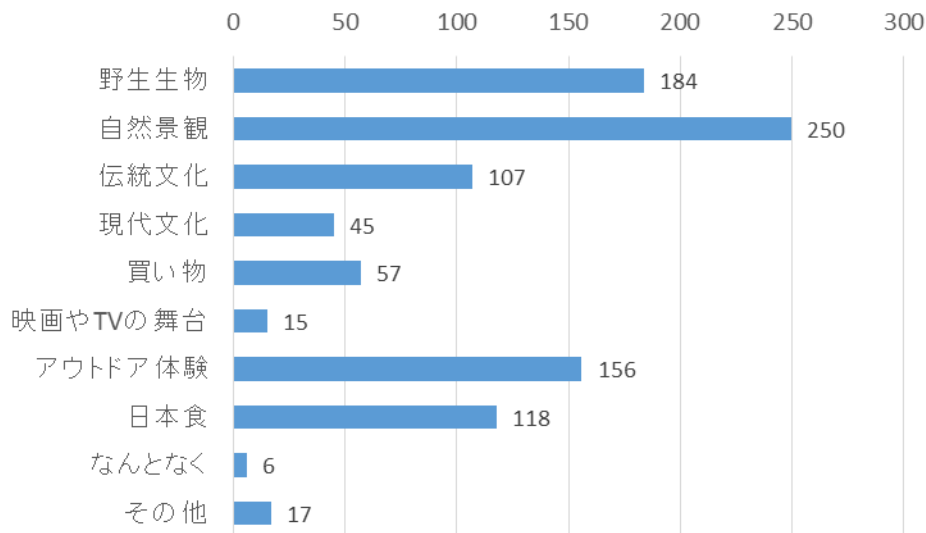


Fig. 7 MA=955

日本への訪問動機を Fig. 7 に示す。回答は複数回答である。多い順に、「自然景観」、「野生生物」、「アウトドア体験」と続いた。日本の自然やアウトドアを楽しむためことを目的に来訪した参加者が多いことが示された。その他には「日本国内在住」、「友人や家族に会うため」、「夏の北海道に再度来たかった」、「家族の希望」、「日本ハムファイターズ（陽 岱鋼）を観戦しに来た」という意見があった。

### 3-9. 【複数回答】なぜ知床五湖へ訪れたいと思いましたが

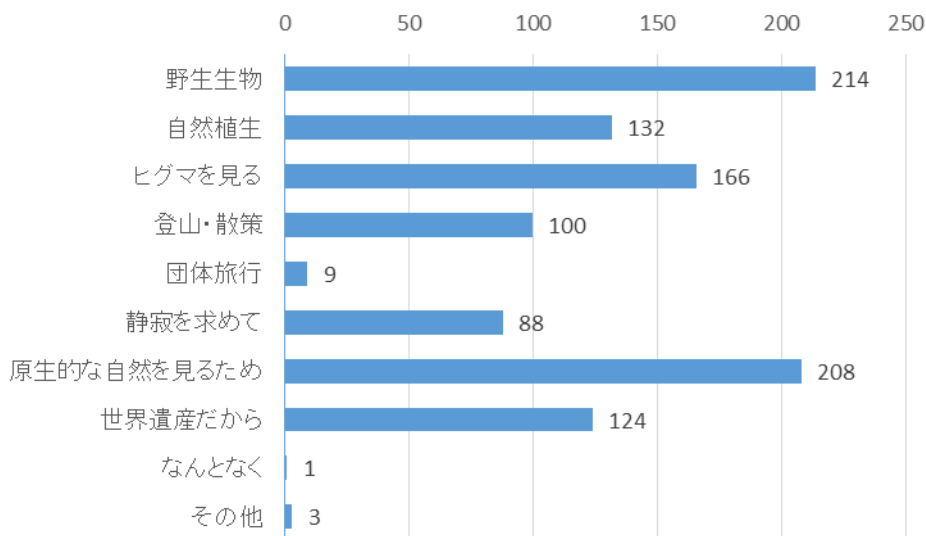


Fig. 8 MA=1045



知床五湖への訪問動機を Fig. 8 に示す。回答は複数回答である。多い順に、「野生生物」、「原生的な自然を見るため」、「ヒグマを見る」、「自然植生」と続いた。知床の野生生物や自然を楽しむためことを目的に来訪した参加者が多い傾向が示された。その他には「同行者や家族の希望や付添」という回答が 2 件あった。

### 3-10. 知床五湖までの交通手段

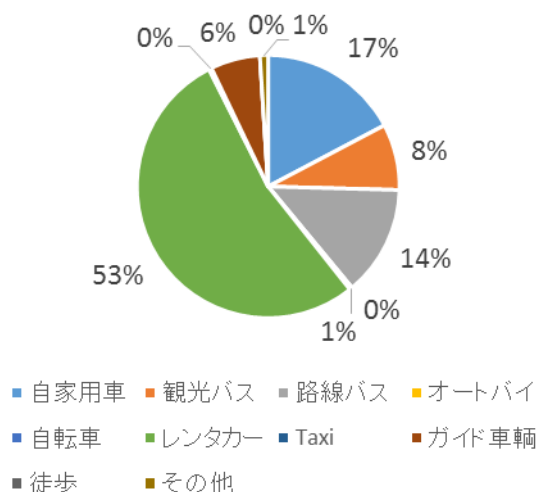


Fig. 9 n=295

知床五湖までの交通手段を Fig. 9 に示す。多い順に、「レンタカー (157 名)」、「自家用車 (51 名)」、「路線バス (40 名)」、「観光バス (24 名)」と続いた。自家用車という回答が 17% あるが、回答者すべてが自家用車で来たとは考えづらいため、これにはレンタカーも含まれると推定される。今回の設問配置ではレンタカーの前に自家用車が先に置か

れている。さらに訳語の捉え方によってはレンタカーは自家用車に含まれた可能性がある。例えば今回の英訳で自家用車は「Private car」レンタカーは「rent-a-car」としたが、参加者の国や地域ではレンタカーであってもプライベートな空間で移動することは「Private car」という選択になる可能性がある。こうした訳語の捉え方による回答のブレは他の設問にもあり、繁体字や簡体字では「ガイド車輛」は「旅行社的接送」と訳したが、この設問を選択した参加者の一部は、知床五湖へ「当日受付」で入場したと回答している。ガイド車輛で知床五湖まで来た場合は、受付はガイドの役割であり参加者が関わることはない。こうしたことから、「旅行社的接送」には参加者が自らの国や地域の旅行代理店などで手配した車輛や外国人ガイド車輛などが含まれた可能性がある。

### 3-11. 【複数回答】知床五湖についての情報入手先

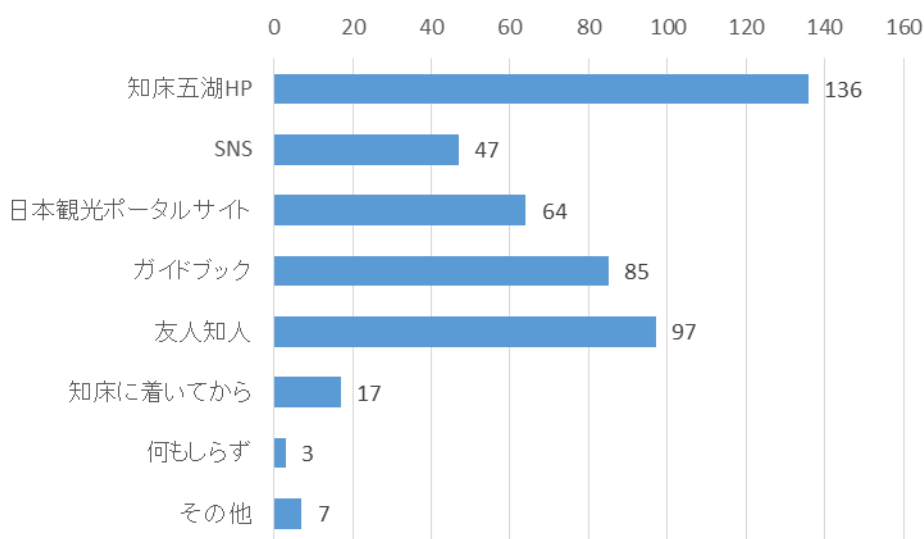


Fig. 10 MA=456

知床五湖についての情報入手先を Fig. 10 に示す。回答は複数回答である。多い順に、「知床五湖 HP」、「友人知人」、「ガイドブック」、「日本観光ポータルサイト」と続いた。一方で知床に着いてから、何も知らず、は少なかったため、多くの参加者が事前に知床五湖についての情報を入手していたと推定される。その他には「BBS 放送」、「台湾人のブログや HP」、「札幌や釧路のインフォメーションセンター」、「制度や情報は同行者に任せきり」、「ホテル」などの意見があった。

### 3-12. ヒグマ活動期の制度の認知度について

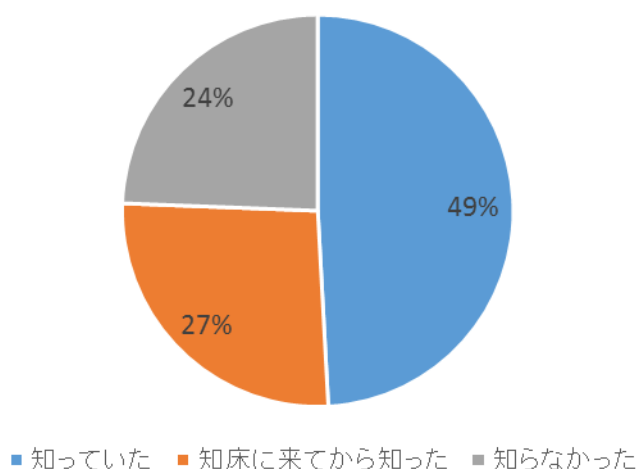


Fig. 11 n=291

ヒグマ活動期の制度についての認知度を Fig. 11 に示す。多い順に、「知っていた (143 名)」、「知床に来てから知った (77 名)」、「知らなかった (71 名)」と続いた。約半数の参加者が知床に来る前にヒグマ活動期の制度を認知していた。ただし、「知床に来てから知った」には、知床五湖に来てから認知した参加者が含まれる可能性がある。

### 3-13. ガイドツアーへの申込み方法

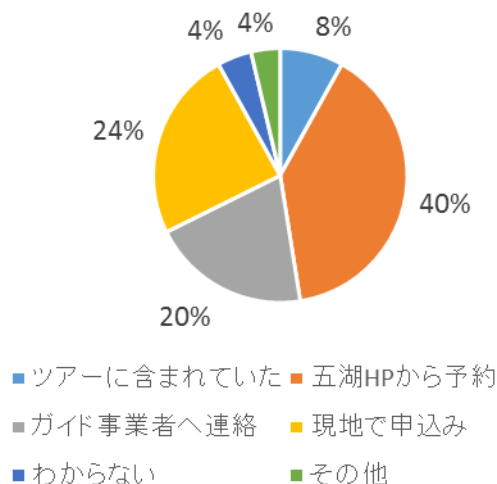


Fig. 12 n=297

ガイドツアーへの申込み方法を Fig. 12 に示す。多い順に、「知床五湖 HP から申込み (117 名)」、「現地で申込み (72 名)」、「ガイド事業者へ連絡 (60 名)」と続いた。「知床五湖 HP から申込み」、「ガイド事業者へ連絡」といった事前予約は約 60% だった。「ツアーに含まれていた (24 名)」や「わからない (13 名)」といった回答には、同行者に任せ

きりで実際には知床五湖 HP にて予約済みであったり、現地で申し込んでいる例も見られた。

### 3-14. ヒグマ活動期の取組みについて

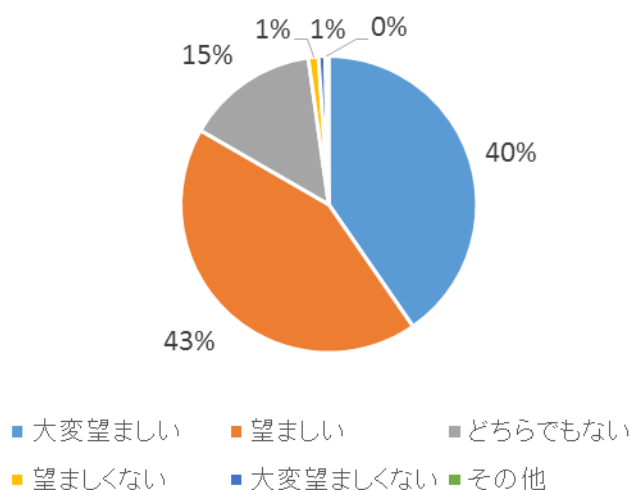


Fig. 13 n=270

ヒグマ活動期の取組みについてを Fig. 13 に示す。多い順に、「望ましい (116 名)」、「大変望ましい (109 名)」、「どちらでもない (39 名)」と続き、取組みに対して否定的な意見はわずかだった。しかし、知床五湖フィールドハウススタッフからは、取組みを理解できず入場しなかったビジターも一定数存在するとの報告がある。本調査はヒグマ活動期にガイドツアーへ参加した参加者のみ回答を得ているため、ヒグマ活動期に知床五湖園地内へ入園を希望したすべての外国人の意見を反映したものではない。その他では「以前の取組みがわからないので評価できない」という意見があった。

ヒグマ活動期の取組みについてを Fig. 13 に示す。多い順に、「望ましい (116 名)」、「大変望ましい (109 名)」、「どちらでもない (39 名)」と続き、取組みに対して否定的な意見はわずかだった。しかし、知床五湖フィールドハウススタッフからは、取組みを理解できず入場しなかったビジターも一定数存在するとの報告がある。本調査はヒグマ活動期

### 3-15. 知床五湖での言語対応は良いか

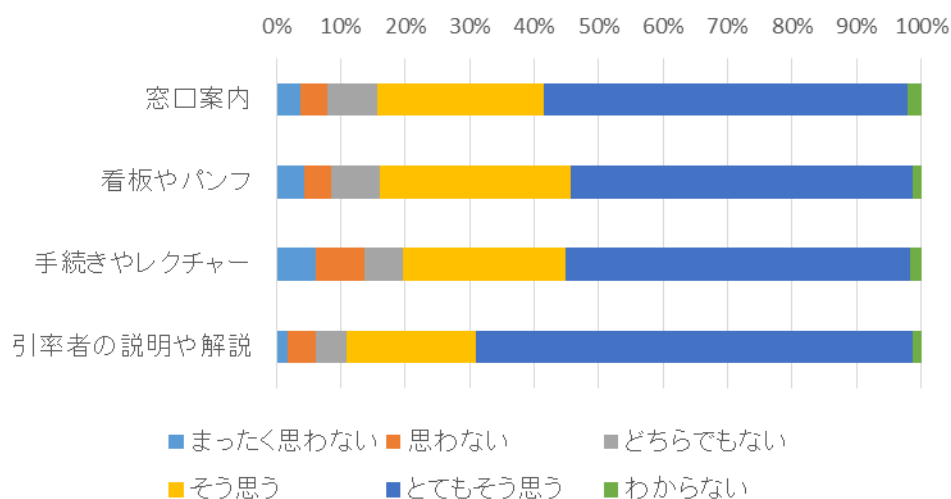


Fig. 14 n=294

「知床五湖での言語対応は良いか」を Fig. 14 に示す。設問は「窓口案内」、「看板やパンフレット」、「手続きやレクチャー」、「引率者の説明や解説」の4つである。「窓口案内」に

については多い順に、「とてもそう思う（166名）」、「そう思う（76名）」、と続き、約8割の参加者が言語対応に対して好意的な回答を示した。

「看板やパンフレット」については、多い順に、「とてもそう思う（156名）」、「そう思う（87名）」、と続き、約8割の参加者が看板やパンフレットの言語対応に対して好意的な回答を示した。

「手続きやレクチャー」については、多い順に、「とてもそう思う（157名）」、「そう思う（74名）」、と続き、約8割の参加者が手続きやレクチャーの言語対応に対して好意的な回答を示した。

「引率者の事前説明や解説」については、多い順に、「とてもそう思う（199名）」、「そう思う（59名）」、と続き、約9割の参加者が引率者の事前説明や解説の言語対応に対して好意的な回答を示した。一方で、今回のアンケート調査は、積極的に外国人参加者を受け入れている比較的言語に堪能な引率者による回収が多かったため、これはすべての引率者の評価を示すものではない可能性がある。

### 3-16. 知床五湖を利用した感想

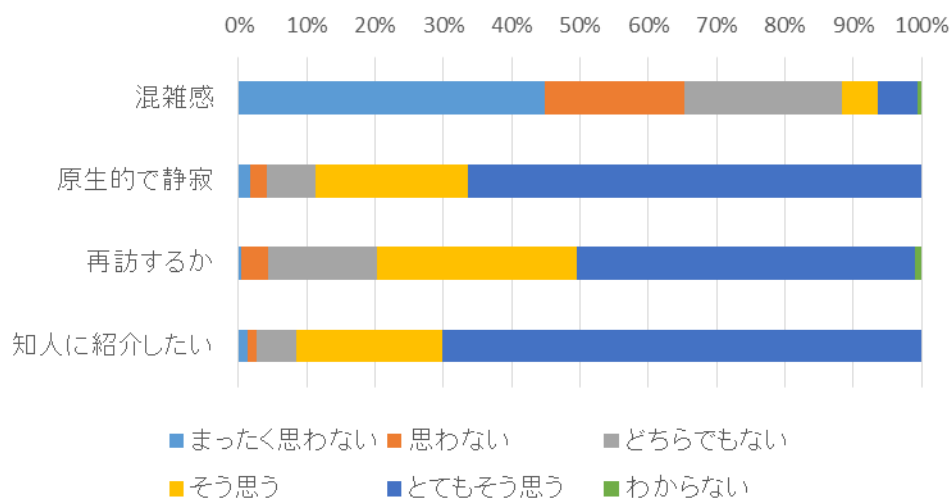


Fig. 15 n=295

「知床五湖を利用した感想」を Fig. 15 に示す。「地上遊歩道で混雑を感じたか」については、多い順に、「まったく思わない（132名）」、「どちらでもない（68名）」、「思わない（60名）」と続いた。6割を超える参加者が地上遊歩道において混雑を感じなかったと回答した。

「原生的で静寂な場所を満喫できたか」については、多い順に、「とてもそう思う（196名）」、「そう思う（66名）」、と続き、9割近い参加者が地上遊歩道は原生的で静寂だったと

回答した。

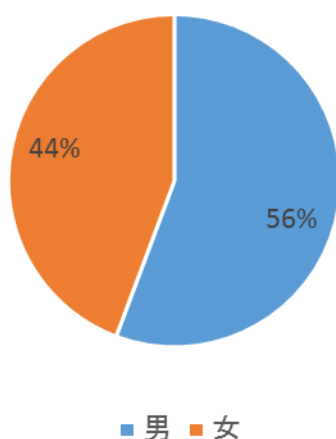
「知床五湖に再訪したいか」については、多い順に、「とてもそう思う（146名）」、「そう思う（86名）」、と続き、8割近い参加者が知床五湖に再訪したいと回答した。

「知床五湖を家族や友人に紹介したい」については、多い順に、「とてもそう思う（207名）」、「そう思う（63名）」、と続き、9割を超える参加者が知床五湖を家族や友人に紹介したいと回答した。

## 4. 植生保護期調査結果

この章では、植生保護期間に実施したアンケートの回答結果を示す。アンケートは3つの言語で配布し郵送にて回収したが、ヒグマ活動期同様アジア系参加者からは柔軟な言語対応が見られたため、ここでも言語別に分類せずまとめて集計した。

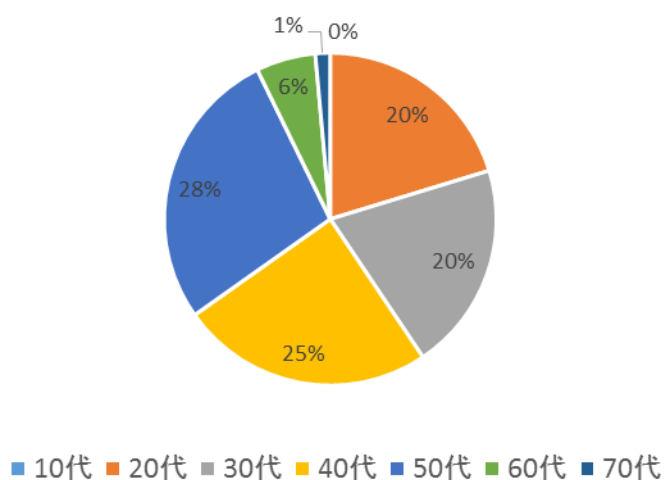
### 4-1. 参加者属性性別



参加者の性別を Fig. 16 に示す。男性 39 名、女性 31 名となり、男性参加者の割合が高かった。

Fig. 16 n=70

### 4-2. 参加者属性年齢



参加者の年齢を Fig. 17 に示す。「50代」が一番多く（19名）、次に「40代（17名）」、「20代（14名）」と「30代（14名）」が同ポイントで並んだ。

Fig. 17はポイントで示しているが、参加者数で比較すると、年代別での差は大きいものとは言えない結果だった。

Fig. 17 n=69

Table 2 n=59

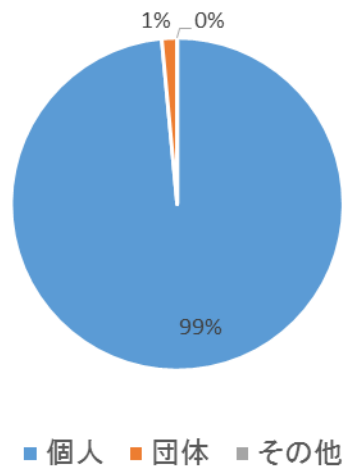
国・地域	人数	割合%	備考
香港	15	25.4	
中国	8	13.6	
マレーシア	8	13.6	
台湾	7	11.9	
シンガポール	5	8.5	
アメリカ	4	6.8	
イギリス	3	5.1	
オーストラリア	3	5.1	
ニュージーランド	3	5.1	
ベルギー	1	1.7	
カナダ	1	1.7	
インド	1	1.7	

て「中国」に集約すると、中国からの参加者数が約4割を占めた。

#### 4-3. 参加者属性国および地域

参加者の国や地域を Table2 に示す。12の国や地域から参加があった。参加数数が一番多かったのは「香港」で、「中国」、「マレーシア」と続いた。全体ではアジア地域からの参加者が多く72.9%を占めた。なお香港からの参加者の中には「国籍香港、居住地香港」という回答のほか、「国籍中国、居住地香港」という回答もあり、これらについてはそれぞれの国や地域に反映させた。こうした回答をすべて

#### 4-4. 参加者旅行形態



参加者の旅行形態を Fig. 18 に示す。「個人旅行」が一番多く（66名）、「団体旅行（1名）」、その他という回答はなかった。

Fig. 18 n=67



#### 4-5. 日本への来訪回数

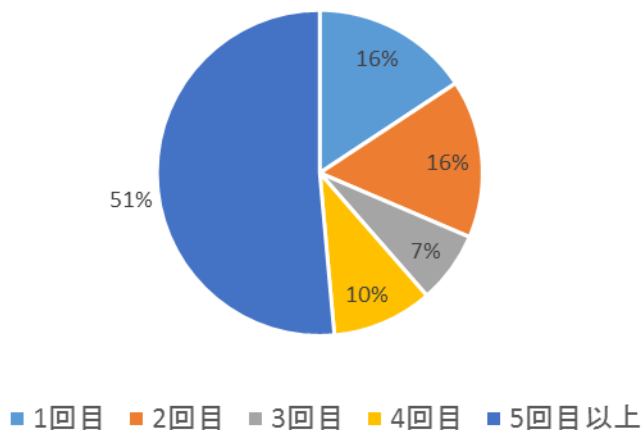


Fig. 19 n=70

日本への来訪回数をFig. 19に示す。「5回目以上」の来訪者が一番多く（36名）、次が「1回目（11名）」、「2回目（11名）」と続いた。ヒグマ活動期には存在した日本在住者はいなかった。

#### 4-6. 知床五湖への来訪回数

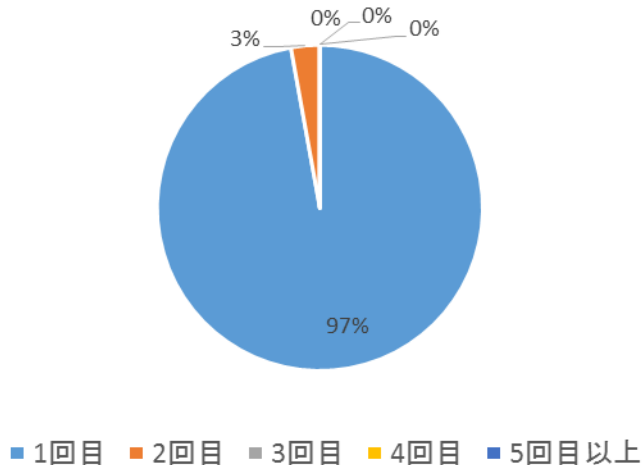


Fig. 20 n=70

知床五湖への来訪回数をFig. 20に示す。「1回目」の来訪者が一番多く（68名）、ほとんどの来訪者が1回目だった。次が「2回目（2名）」で「3回目」以上の来訪者はいなかった。

#### 4-7. 【複数回答】知床で訪れたすべての場所

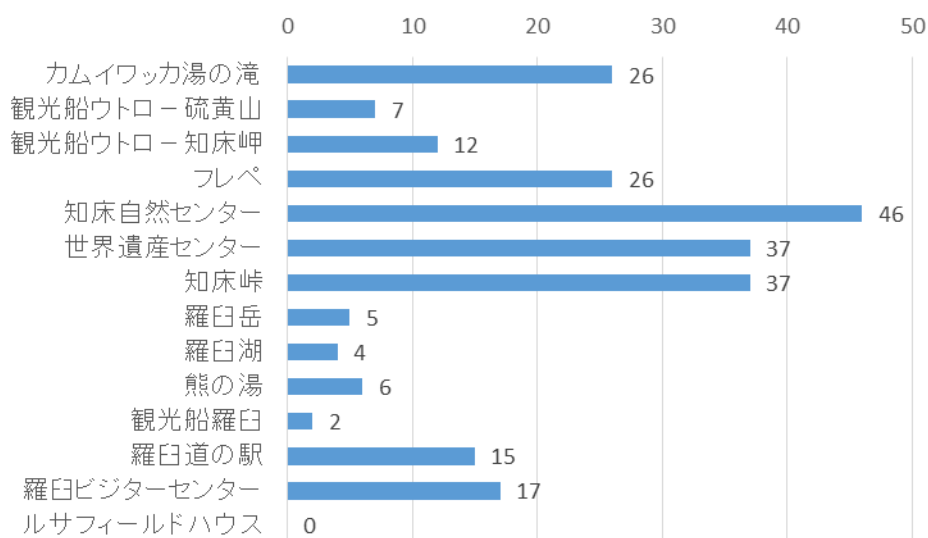


Fig. 21 MA=240

知床で訪れたすべての場所を Fig. 21 に示す。回答は複数回答である。多い順に、「知床自然センター」、「世界遺産センター」、「知床岬」と続いた。訪問先を斜里側と羅臼側を比較すると（知床岬・羅臼岳を除く）、羅臼側への訪問は全体の 22.2%とヒグマ活動期より増加した。なおヒグマ活動期では、この設問への未回答が 17.6%存在したが、植生保護期においては 4.3%と減少した。植生保護期のアンケートは知床五湖現地での回収ではなかったため、知床の全日程を滞在後に記入した参加者が多かったと推定される。

#### 4-8. 【複数回答】なぜ日本を訪れたいと思いましたが

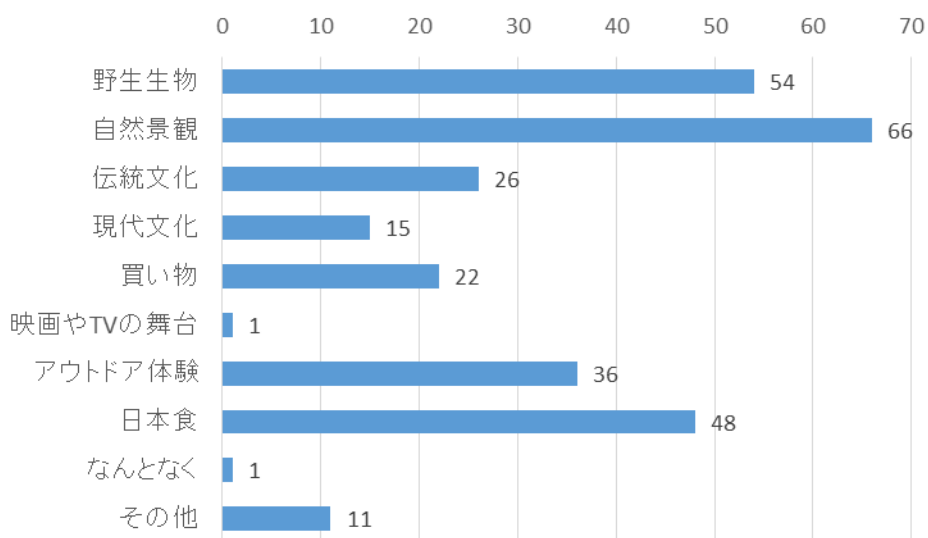


Fig. 22 MA=280

日本への訪問動機を Fig. 22 に示す。回答は複数回答である。多い順に、「自然景観」、「野生生物」、「アウトドア体験」と続いた。ヒグマ活動期同様、日本の自然やアウトドアを楽しむためことを目的に来訪した参加者が多いと推定された。その他には「車中泊、キャンプをするため」、「友人や家族に会うため」、「冷涼な気候にひかれて」、「家族の希望」、「相撲を観戦しに来た」という意見があった。

#### 4-9. 【複数回答】なぜ知床五湖へ訪れたいと思われましたか

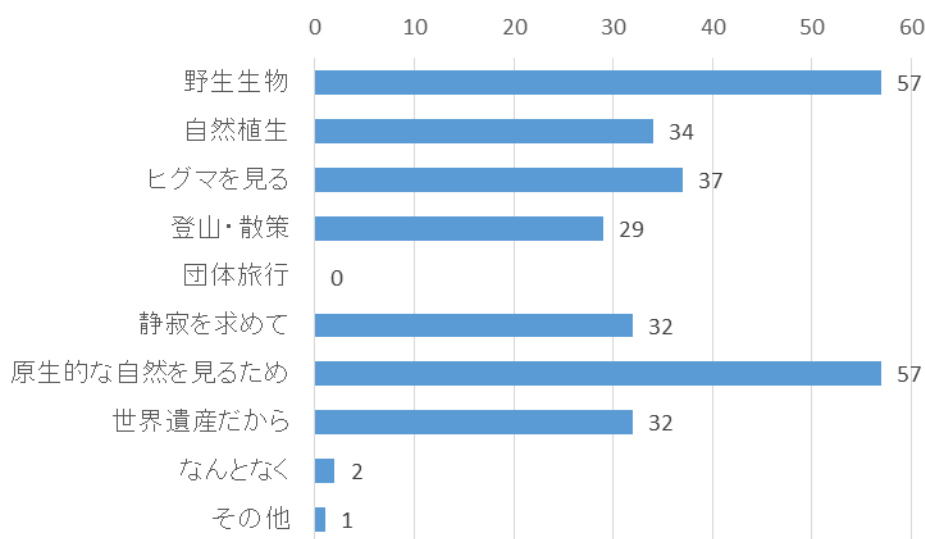
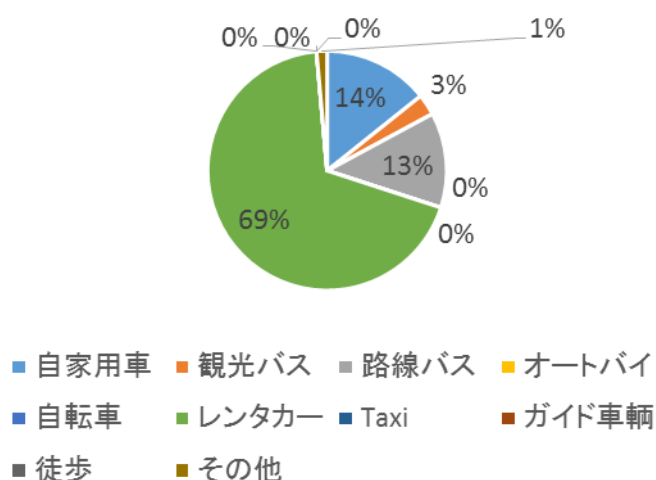


Fig. 23 MA=281

知床五湖への訪問動機を Fig. 23 に示す。回答は複数回答である。多い順に「野生生物」、「原生的な自然を見るため」が同数で一位。その後に「ヒグマを見る」、「自然植生」と続いた。知床の野生生物や自然を楽しむためことを目的に来訪した参加者が多いと推定された。その他は1件あったが理由の記載はなかった。

#### 4-10. 知床五湖までの交通手段



知床五湖までの交通手段を Fig. 24 に示す。多い順に、「レンタカー（48名）」、「自家用車（10名）」、「路線バス（9名）」、「観光バス（2名）」と続いた。その他は1件あったが具体的な交通手段の記載はなかった。

Fig. 24 n=70

#### 4-11. 【複数回答】知床五湖についての情報入手先

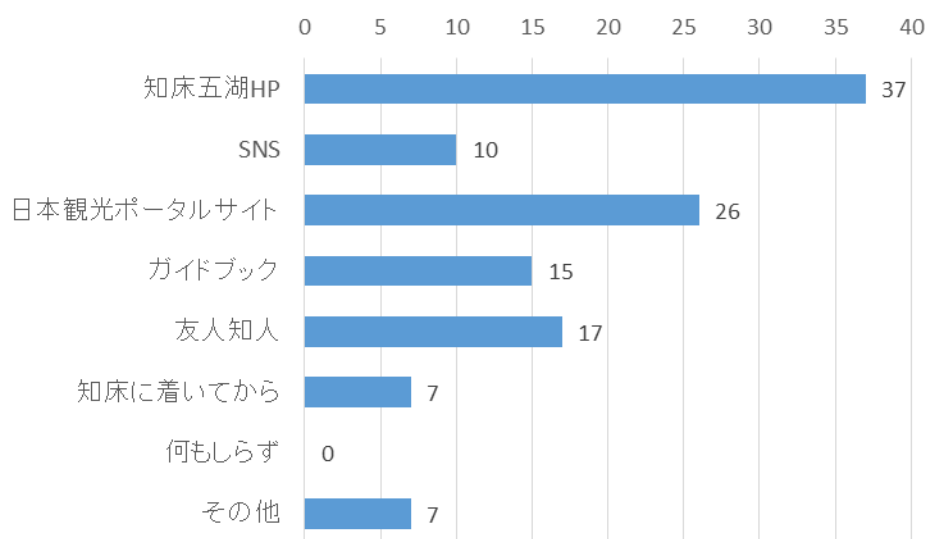


Fig. 25 MA=119

知床五湖についての情報入手先を Fig. 25 に示す。回答は複数回答である。多い順に、「知床五湖 HP」、「日本観光ポータルサイト」、「友人知人」と続いた。「知床に着いてから」、「何も知らず」、は少なかったため、多くの参加者が事前に知床五湖についての情報を入手していたと推定される。その他には「網走のホテルで知った」、「ホテルで知った」、「羅臼ビジターセンター」、「HKG news report」、「インフォメーションセンター」などの意見があった。

#### 4-12. 植生保護期の制度の認知度について

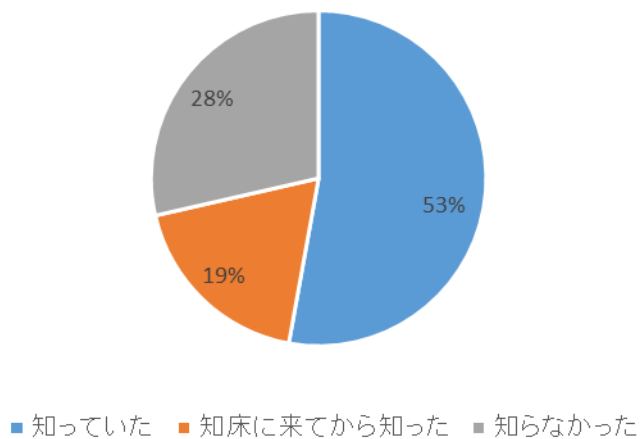


Fig. 26 n=70

植生保護期の制度についての認知度を Fig. 26 に示す。多い順に、「知っていた (37 名)」、「知床に来てから知った (13 名)」、「知らなかった (20 名)」と続いた。約半数の参加者が知床に来る前に植生保護期の制度を認知していた。

#### 4-13. 知床五湖の取組みについて

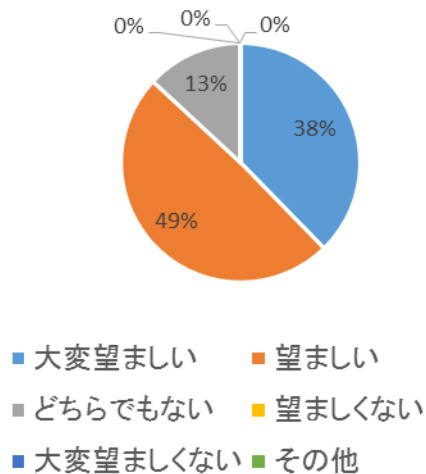
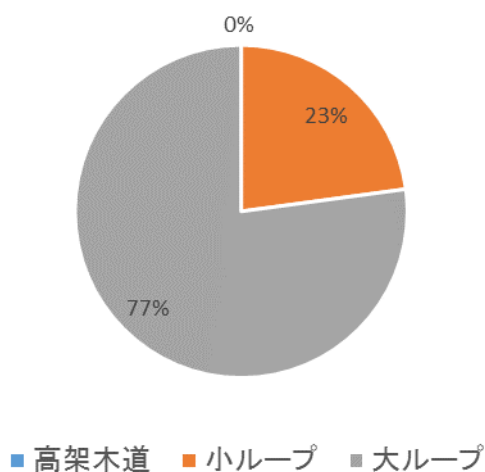


Fig. 27 n=61

知床五湖の取組みについての評価を Fig. 27 に示す。多い順に、「望ましい (30 名)」、「大変望ましい (23 名)」、「どちらでもない (8 名)」と続いた。「望ましくない」などの否定的な評価はなかった。

#### 4-14. 選択した遊歩道



選択した遊歩道を Fig. 28 に示す。「大ループ」54名、「小ループ」16名で、高架木道のみの利用という回答はなかった。

Fig. 28 n=70

#### 4-15. 知床五湖での言語対応は良いか

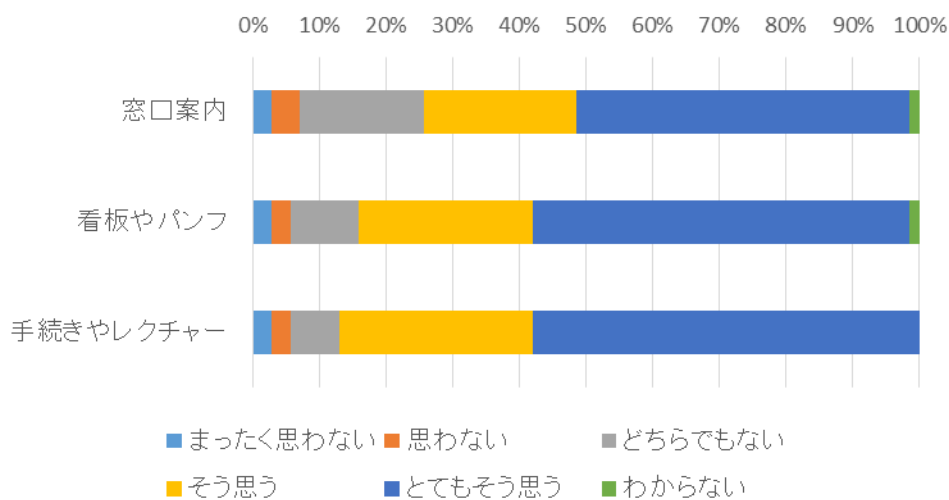


Fig. 29 n=70

「知床五湖での言語対応は良いか」を Fig. 29 に示す。設問は「窓口案内」、「看板やパンフレット」、「手続きやレクチャー」の3つである。「窓口案内」については、多い順に、「とてもそう思う (35名)」、「そう思う (16名)」と続き、約7割の参加者が言語対応に対して不満を感じなかったという回答を示した。

「看板やパンフレット」については、多い順に、「とてもそう思う（39名）」、「そう思う（18名）」、と続き、約8割の参加者が看板やパンフレットの言語対応に対して好意的な回答を示した。

「手続きやレクチャー」については、多い順に、「とてもそう思う（40名）」、「そう思う（20名）」、と続き、8割を超える参加者が手続きやレクチャーの言語対応に対して好意的な回答を示した。

#### 4-16. 知床五湖を利用した感想

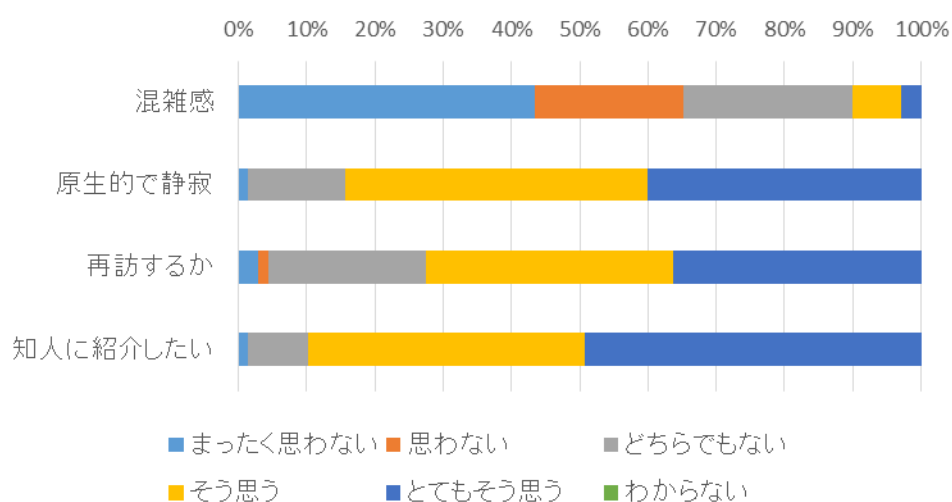


Fig. 30 n=70

「知床五湖を利用した感想」を Fig. 30 に示す。「地上遊歩道で混雑を感じたか」については、多い順に、「まったくそう思わない（30名）」、「どちらでもない（17名）」、「思わない（15名）」、と続いた。6割を超える参加者が地上遊歩道において混雑を感じなかったと回答したが、「どちらでもない」という回答はヒグマ活動期より多かった。

「原生的で静寂な場所を満喫できたか」については、多い順に、「そう思う（31名）」、「とてもそう思う（28名）」、と続き、8割を超える参加者が地上遊歩道は原生的で静寂だったと回答したが、ヒグマ活動期に比較すると「とてもそう思う」と「そう思う」が逆転した。

「知床五湖に再訪したいか」については、「とてもそう思う（25名）」と「そう思う（25）」、が同数で、「どちらでもない（16名）」と続いた。7割を超える参加者が知床五湖を再訪したいと回答したが、その割合はヒグマ活動期と比較すると減少した。

「知床五湖を家族や友人に紹介したい」については、多い順に、「とてもそう思う（34名）」、「そう思う（28名）」、と続き、約9割の参加者が知床五湖を家族や友人に紹介したいと回答した。



## 5. ヒグマ活動期と植生保護期の結果および考察

この章では、ヒグマ活動期と植生保護期で得られたアンケート結果を考察する。特にある程度の差が見られたり、注目すべき設問に関して考察をする。

### 5-1. 参加者属性性別（％）

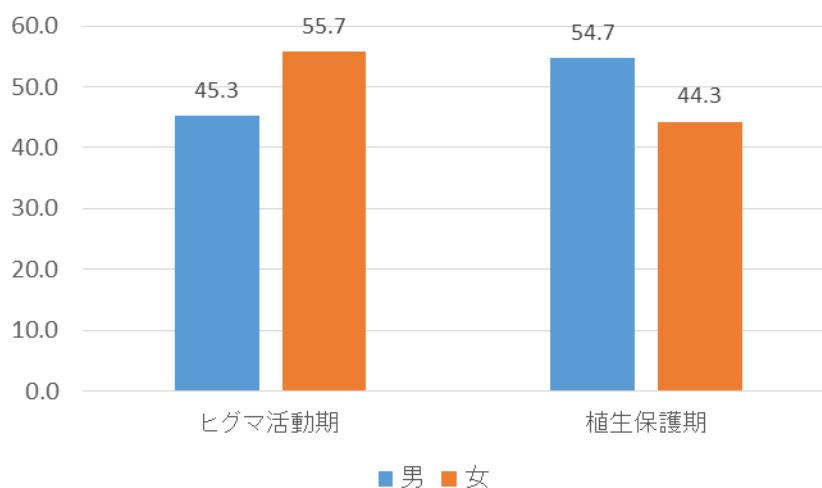


Fig. 31

「参加者属性性別」を Fig. 31 に示す。ヒグマ活動期では、男性に比べ女性が多かったが、植生保護期では男性に比べ女性が少なかった。サンプル数不足による偏りも疑われるが、ヒグマ活動期と植生保護期では性差の傾向は異なった。

## 5-2. 参加者属性年齢別 (%)

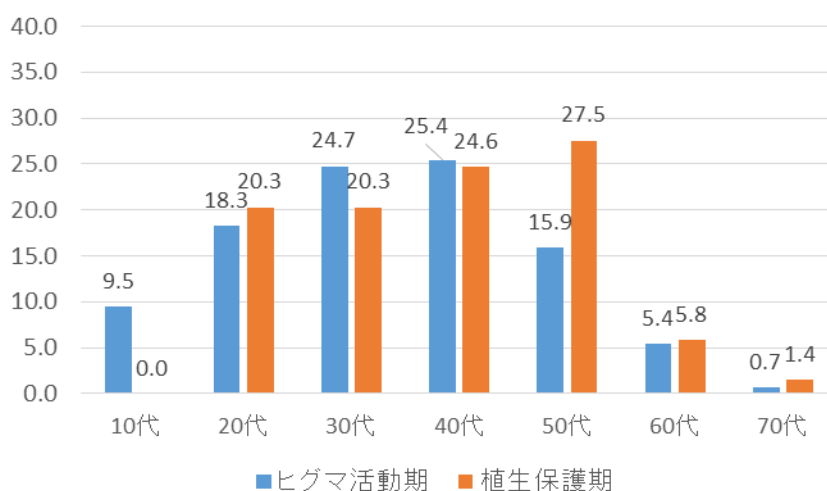


Fig. 32

「参加者属性年齢別」を Fig. 32 に示す。ヒグマ活動期は「40代」が一番多く、「30代」、「20代」と続いた。一方、植生保護期は「50代」が一番多く、次に「40代」、同率で「30代」、「20代」と続いた。「10代」で大きな差が見られるが、これはヒグマ活動期が直接回収だったのに対し、植生保護期の回収方法が日本国内から郵送だったことが影響した可能性がある。「50代」は植生保護期に多かった。これは、ヒグマ活動期に比べ「自分のペースで歩けること」、「小ルートを選択できること」などが要因として考えられる。

### 5-3. 参加者属性国および地域 (%)

Table 3

国・地域	人数	割合%	備考
台湾	78	29.9	
中国	48	18.4	
シンガポール	33	12.6	
香港	19	7.3	
イギリス	16	6.1	
韓国	12	4.6	
タイ	8	3.1	
日本	6	2.3	
アメリカ	7	2.7	
フランス	5	1.9	
ドイツ	4	1.5	
マレーシア	5	1.9	
オランダ	3	1.1	
ベルギー	3	1.1	
イタリア	3	1.1	
デンマーク	3	1.1	
オーストラリア	3	1.1	
その他	5	1.9	カナダ・アイルランド・イタリア・インドネシア・スイス・チェコスロバキア

国・地域	人数	割合%	備考
香港	15	25.4	
中国	8	13.6	
マレーシア	8	13.6	
台湾	7	11.9	
シンガポール	5	8.5	
アメリカ	4	6.8	
イギリス	3	5.1	
オーストラリア	3	5.1	
ニュージーランド	3	5.1	
ベルギー	1	1.7	
カナダ	1	1.7	
インド	1	1.7	

「参加者属性国および地域」を Table3 に示す。ヒグマ活動期は 23 の国や地域からの参加者が認められ、植生保護期は 12 の国や地域から参加者が認められた。ヒグマ活動期と植生保護期を合計すると 25 の国や地域からの参加者が認められた。全体ではアジアからの参加者が多かった。なお香港からの参加者の中には「国籍香港、居住地香港」という回答のほか、「国籍英国、居住地 HK」、「国籍中国、居住地香港」という回答もあり、これらについてはそれぞれの国や地域に反映させた。こうした回答をすべて「中国」に集約すると、中国からの参加者数は増加する。なお、中南米や中東、アフリカからの参加者は認められなかった。

#### 5-4. 参加者旅行形態 (%)

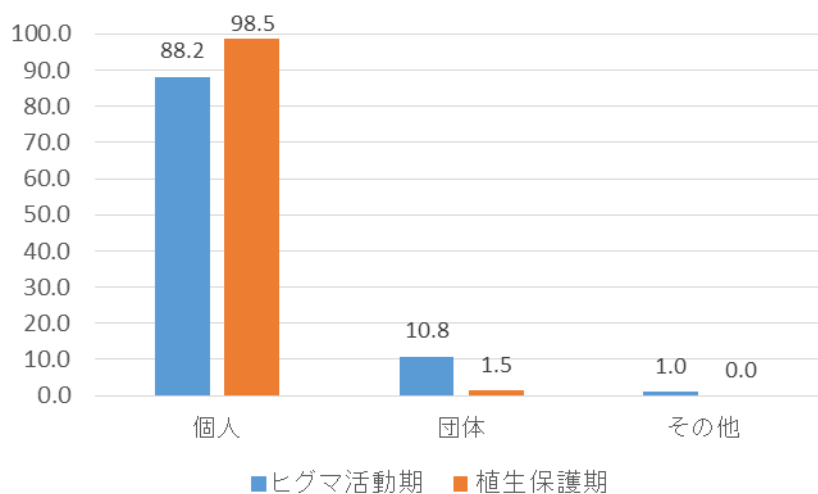


Fig. 33

「参加者旅行形態」を Fig. 33 に示す。ヒグマ活動期、植生保護期ともに約9割が個人旅行と回答した。特に植生保護期はその割合が高かった。

#### 5-5. 知床で訪れたすべての場所 (%)

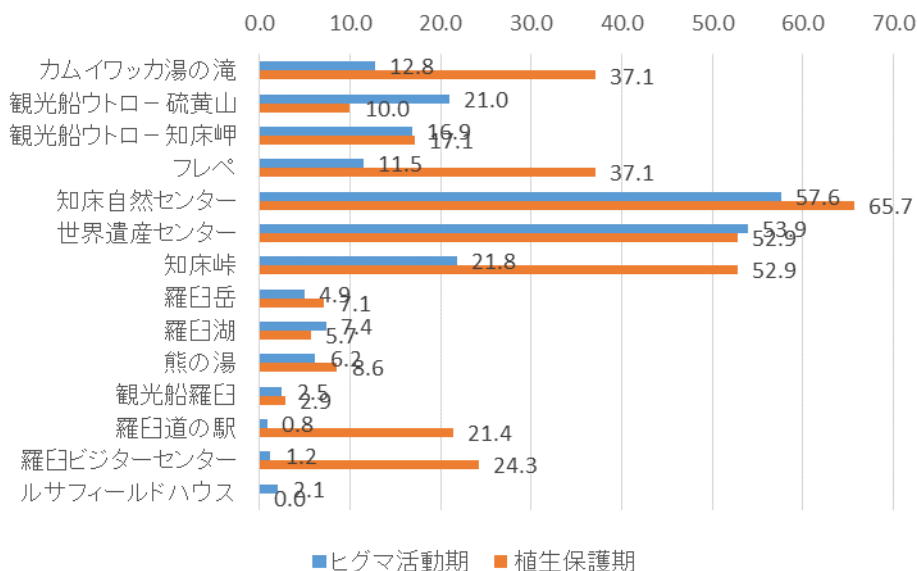


Fig. 34

「知床で訪れたすべての場所」を Fig. 34 に示す。ヒグマ活動期と植生保護期で差が見られた設問がある。特に「カムイワッカ湯の滝」、「フレペの滝」、「知床峠」、「羅臼道の駅」、「羅臼ビジターセンター」は、ヒグマ活動期に比べ植生保護期の参加者の方が訪れており、その差は倍以上となった。ヒグマ活動期は散策時間が3時間と決まっており、また希望の時間に予約できないことがあるため、「知床五湖」と他の景勝地や施設、体験と組み合わせづらい傾向があるかもしれない。ただフレペの滝については、ヒグマ活動期中は知床五湖よりも閉鎖頻度が高かったため、散策できず諦めた参加者も存在していた可能性がある。

一方で、「知床自然センター」及び「世界遺産センター」はヒグマ活動期と植生保護期のいずれも高い値を示し、知床五湖を訪れる外国人利用者の半数以上が時期にかかわらず両施設を訪れていることが分かった。両施設が、知床五湖を中心とするウトロ側の利用において情報発信拠点として重要な役割を担っていることが示唆された。ただし、ヒグマ活動期のアンケートは知床五湖現地で回収しているため、知床五湖からその先の移動先が反映されておらず、一概に比較できない可能性がある。

#### 5-6. 知床五湖までの交通手段（％）

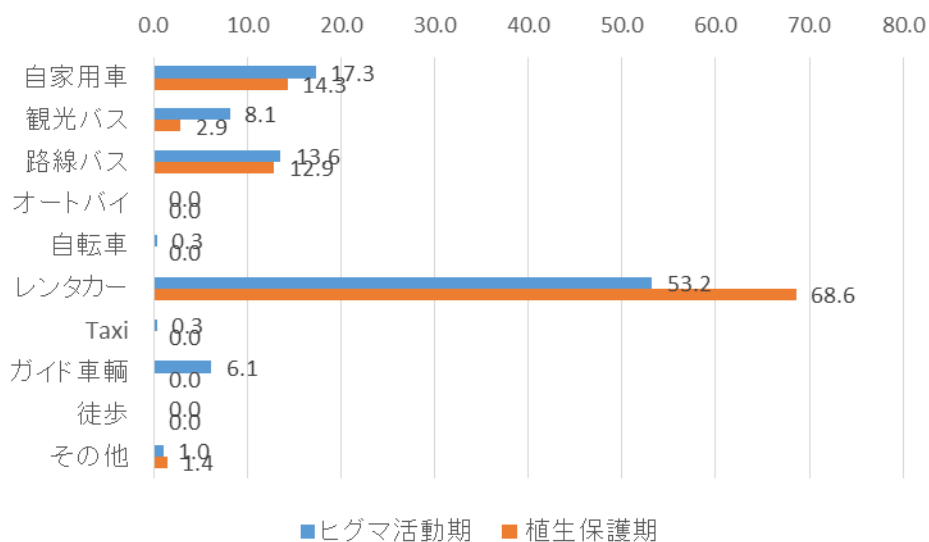


Fig. 35

「知床五湖までの交通手段」を Fig. 35 に示す。ヒグマ活動期、植生保護期ともにレンタカーが50%以上を占めた。なお、参加者が同一グループと推定される場合であっても、「自家用車」と回答する参加者もいれば「レンタカー」と回答する参加者も存在した。今回のアンケート設問では自家用車がレンタカーの前に配置されていたが、これが先にレンタカーと配置することで結果が異なった可能性がある。これは、ヒグマ活動期の結果でも述べ

ているが、回答者の母国語や文化によって、質問について調査者の意図とは異なる解釈がされてしまった可能性がある。路線バス（シャトルバス）は10%を超える参加者が利用していた。ガイド車輛はヒグマ活動期には利用されていたが、植生保護期の利用はなかった。その他は具体的な記載がなかったため不明である。

#### 5-7. 知床五湖についての情報入手先（%）

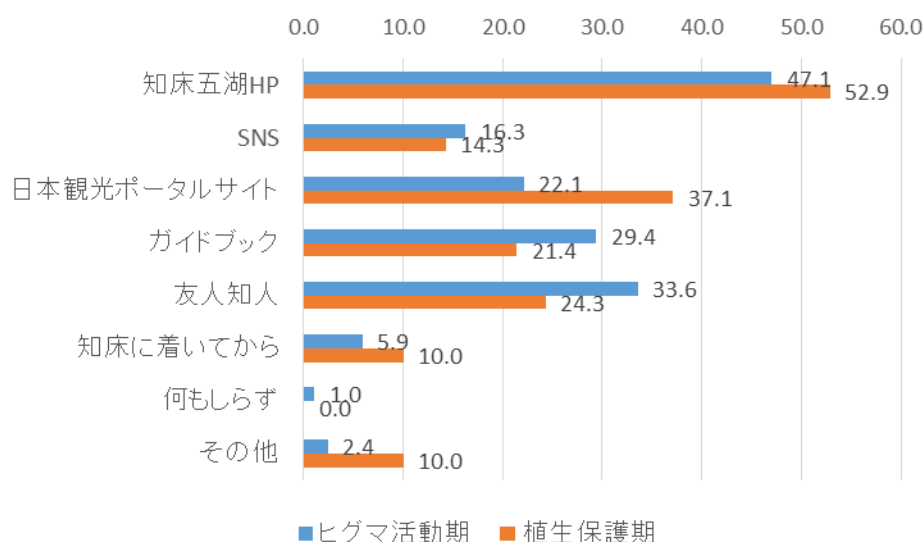


Fig. 36

「知床五湖についての情報入手先」を Fig. 36 に示す。ヒグマ活動期、植生保護期ともに「知床五湖 HP」が一番多かった。ただし、次点はヒグマ活動期が「友人知人」であったのに対し、植生保護期は「日本観光ポータルサイト」となった。ヒグマ活動期はツアー予約が必要なため、グループのリーダーが予約に関する情報を入手して、他のメンバーに伝えていた可能性がある。「知床に着いてから」は植生保護期の方が多かった。これはツアー予約が必要ではないため、事前に調べずに知床まで来た可能性を示す。

5-8. それぞれの期間の制度の認知度について (%)

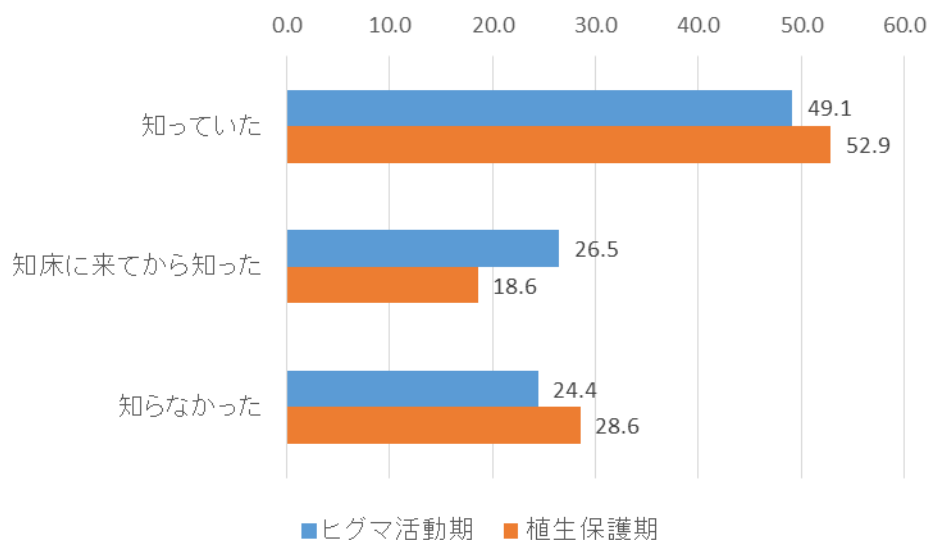


Fig. 37

それぞれの期の制度の認知度を Fig. 37 に示す。「知っていた」が約半数を占めた。一方で「知らなかった」はヒグマ活動期で 24.4%、植生保護期で 28.6%存在した。

5-9. 知床五湖を利用した感想 (地上遊歩道で混雑を感じたか) (%)

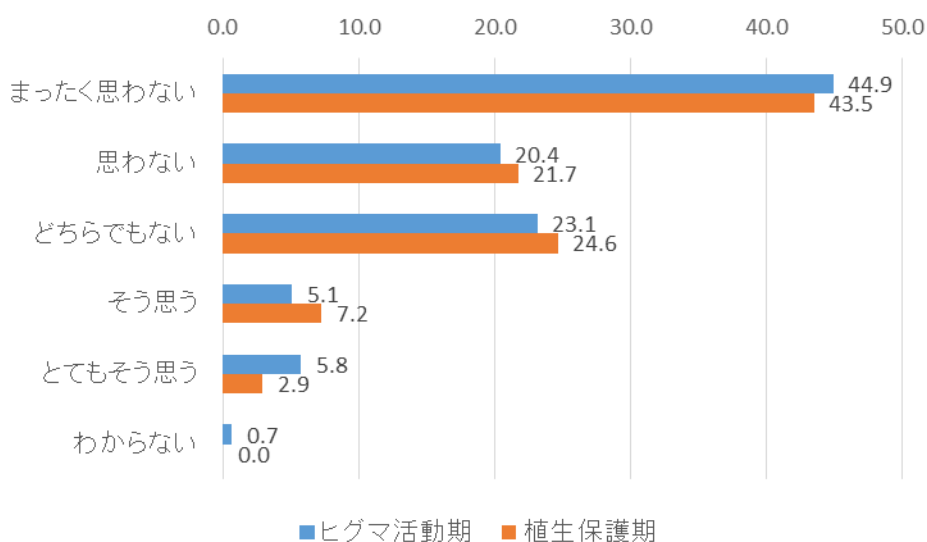


Fig. 38

「地上遊歩道で混雑を感じたか」を Fig. 38 に示す。それぞれの期の比較で大きな差はな

かった。ヒグマ活動期に比べ植生保護期はその制度の違いから、追越しなど他の参加者との遭遇が増えるため異なる結果になると推測していたが、混雑感を感じた参加者はヒグマ活動期、植生保護期ともに少なかった。一方で「とてもそう思う」という参加者はヒグマ活動期の方に多かった。これは制度により自分たちだけで散策できず、他の参加者も含んだパーティーでの行動になるため、混雑感を感じたものと推定される。ただし今回植生保護期のアンケートについては一番入込の多い8月を外しているため、調査時期を変えると異なる結果となる可能性がある。

#### 5-10. 知床五湖を利用した感想（原生的で静寂な場所を満喫できたか）（%）

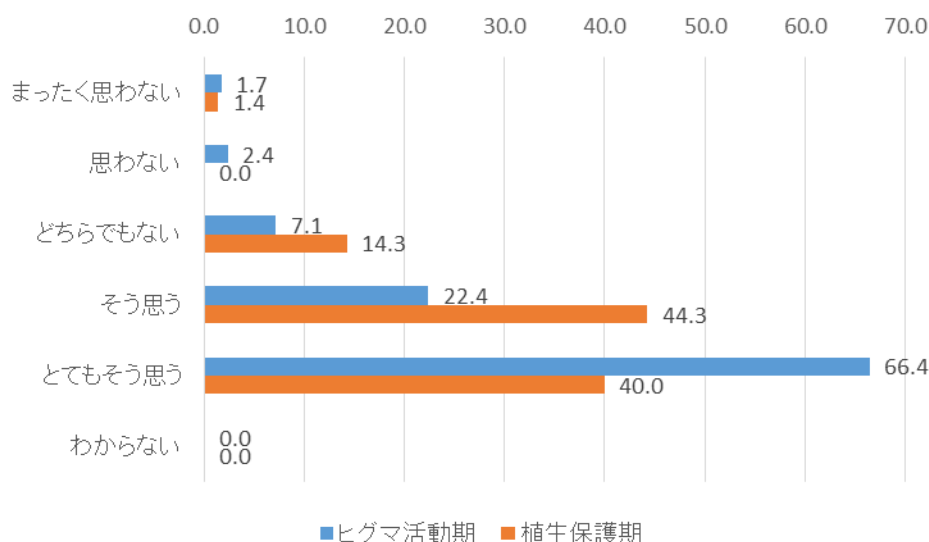


Fig. 39

「原生的で静寂な場所を満喫できたか」について Fig. 39 に示す。それぞれの期の比較で差が見られ、「とてもそう思う」はヒグマ活動期が高く、植生保護期で低かった。「そう思う」は植生保護期の方が高かった。前の 5-9. 「混雑感」に関しては大きな差がなかったが、やはり他の参加者の追越しや遭遇の有無が、原生的な雰囲気や静寂感を損ねている可能性がうかがえた。また、ヒグマ活動期で義務付けられている登録引率者による引率が、外国人利用者の満喫度合いを高めていた可能性もうかがえた。



### 5-11. 知床五湖を利用した感想（家族や友人に紹介したい）（％）

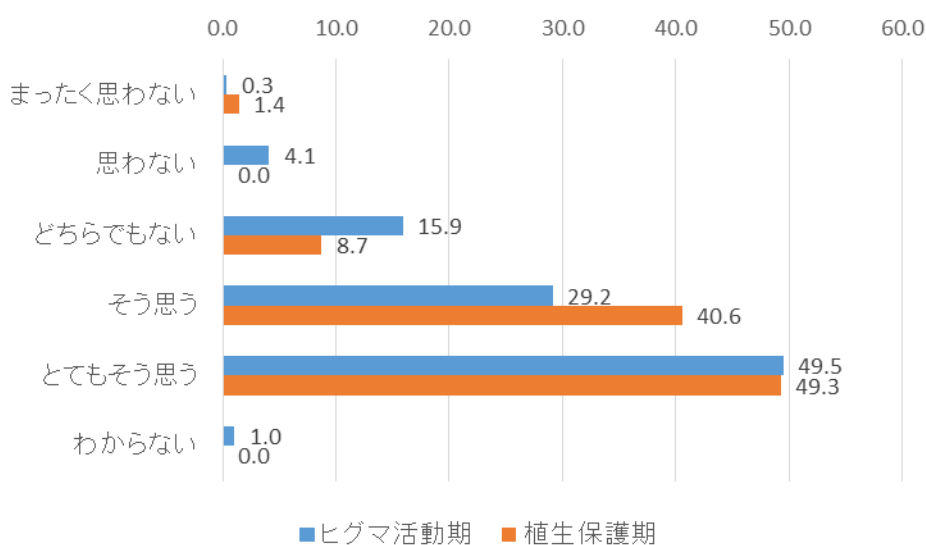


Fig. 40

「家族や友人に紹介したい」を Fig. 40 に示す。それぞれの期の比較で「とてもそう思う」に差はなかったが、「そう思う」ではヒグマ活動期に比べ、植生保護期が高く、「どちらでもない」はヒグマ活動期の方が高かった。約半数の参加者が「家族や友人に紹介したい」という感想を残した一方で、他半数の参加者の意見は分かれる結果となった。

### 5-12. 返信封筒の消印

返信封筒の消印を多い順に示す。網走（14 通）、旭川（8 通）、成田（7 通）、釧路（5 通）、小樽（4 通）、千歳（4 通）、函館（4 通）、ウトロ（3 通）、遠軽（2 通）、帯広（2 通）、登別（2 通）、蒲田（2 通）、香港（2 通）、札幌（2 通）、根室（1 通）、斜里（1 通）、渋谷（1 通）、新宿（1 通）、銀座（1 通）、新宮（1 通）、京都（1 通）、松本（1 通）、不明（7 通）となった。

89%は道内からの投函で、函館まで足を延ばしたことがわかる。11%が道外で、首都圏が多かったが和歌山（新宮）からの投函もあった。また香港からの投函もあったが、海外からの投函は届かないよう設定していたが、届いたことに驚きがある。

## 6. 既往調査結果との比較

知床五湖地区では、平成 23 年度より知床五湖利用調整地区制度を導入し、利用の適正化対策を講じている。導入後、ヒグマ活動期、植生保護期の双方を含む参加者へのアンケート調査は平成 23 年度から実施され 2 年分の蓄積がある。この章では、今回の調査を既往調査結果と比較する。なお、既往調査はすべて日本語であり、日本国内からの参加者より取得したデータである。

ここでは、日本人と外国人の参加動向の差を知るため、比較可能な設問にてクロス表を作成し、フィッシャーの直接確率を用い検定した。一部設問については、それぞれのアンケートから「どちらともいえない」、「わからない」、「未回答」は除外し、2 要因のクロス表を作成し分散分析をおこなった。日本人の回答は平成 23 年度と 24 年度の調査を加算した数を用いた。なお各年の調査手法を Table 4. に示す。

**Table 4**

	ヒグマ活動期	植生保護期
平成 23 年度（日本人）	対象：ツアー非参加者 手法：対面配布郵送回収	手法：対面配布郵送回収
平成 24 年度（日本人）	対象：ツアー参加者 手法：対面配布対面回収、 対面配布郵送回収	手法：対面配布郵送回収
平成 28 年度（外国人）	対象：ツアー参加者 手法：対面配布対面回収、 対面配布郵送回収	手法：対面配布郵送回収

### 6-1. ヒグマ活動期における知床五湖への来訪回数

**Table 5**

	初めて	2～5 回以上	合計
日本人	207	84	291
外国人	277	17	294
	484	101	

「ヒグマ活動期における知床五湖への来訪回数」のクロス表を Table 5 に示す。P<0.001 となり、知床五湖への来訪回数は日本人に比べ外国人の過去の来訪経験が有意に少なかった。

## 6-2. ヒグマ活動期における制度の認知度

**Table 6**

	知っていた	知らなかった 知床で知った	合計
日本人	189	110	299
外国人	143	145	288
	332	255	

「ヒグマ活動期における制度の認知度」のクロス表を Table6 に示す。P<0.001 となり、ヒグマ活動期における制度の認知度は外国人に比べ日本人の方が有意に多かった。

## 6-3. ヒグマ活動期における取組み理解

**Table 7**

	大変望ましい 望ましい	望ましくない 大変望ましくな い	合計
日本人	288	1	289
外国人	225	5	230
	513	6	

「ヒグマ活動期における取組み理解」のクロス表を Table7 に示す。P=0.063 となり、有意な差は示されなかった。

## 6-4. ヒグマ活動期における遊歩道内の混雑感

**Table 8**

	空いていた やや空いていた	混雑 やや混雑	合計
日本人	189	22	211
外国人	192	32	224
	381	54	

「ヒグマ活動期における遊歩道内の混雑感」のクロス表を Table8 に示す。P=0.141 となり、有意な差は示されなかった。

6-5. ヒグマ活動期における静寂および原生的雰囲気

Table 9

	とてもそう思う	まったく思わない	合計
	そう思う	思わない	
日本人	243	20	263
外国人	262	12	274
	505	32	

「ヒグマ活動期における静寂および原生的雰囲気」のクロス表を Table9 に示す。P=0.081 となり、有意な差は示されなかった。

6-6. ヒグマ活動期における知床五湖を家族や知人に紹介したいか

Table 10

	勧めたい	勧めたくない	合計
	やや勧めたい	やや勧めたくない	
日本人	265	5	270
外国人	270	8	278
	535	13	

「ヒグマ活動期における知床五湖を家族や知人に紹介したいか」のクロス表を Table10 に示す。P=0.307 となり、有意な差は示されなかった。

6-7. ヒグマ活動期における参加者年齢

Table 11

	10~40代	40~70代	合計
	日本人	133	
外国人	230	65	295
	363	218	

「ヒグマ活動期における参加者年齢」のクロス表を Table11 に示す。P<0.001 となり、日本人に比べ外国人の40~70代の参加者が有意に少なかった。

#### 6-8. 植生保護期における知床五湖への来訪回数

**Table 12**

	初めて	2～5 回以上	合計
日本人	348	198	546
外国人	68	2	70
	416	200	

「植生保護期における知床五湖への来訪回数」のクロス表を Table12 に示す。P<0.001 となり、知床五湖への来訪回数は日本人に比べ外国人の過去の来訪経験が有意に少なかった。

#### 6-9. 植生保護期における制度の認知度

**Table 13**

	知っていた	知らなかった 知床で知った	合計
日本人	250	294	544
外国人	37	33	70
	287	327	

「植生保護期における制度の認知度」のクロス表を Table13 に示す。P=0.168 となり、有意な差は示されなかった。日本人でも制度を知らず知床まで来た層が一定数存在することを示す。

#### 6-10. 植生保護期における取組み理解

**Table 14**

	大変望ましい 望ましい	望ましくない 大変望ましくな い	合計
日本人	488	11	499
外国人	53	0	53
	541	6	

「植生保護期における取組み理解」のクロス表を Table14 に示す。P=0.326 となり、有意な差は示されなかった。

#### 6-11. 植生保護期における静寂および原生的雰囲気

**Table 15**

	とてもそう思う	まったく思わない	合計
	そう思う	思わない	
日本人	290	38	328
外国人	45	7	52
	335	45	

「植生保護期における静寂および原生的雰囲気」のクロス表を Table15 に示す。P=0.421 となり、有意な差は示されなかった。なお、この設問は平成 24 年度の調査には含まれていなかったため、平成 23 年度データにて比較した。

#### 6-12. 植生保護期における知床五湖を家族や知人に紹介したいか

**Table 16**

	勧めたい	勧めたくない	合計
	やや勧めたい	やや勧めたくない	
日本人	437	27	464
外国人	50	3	53
	487	30	

「植生保護期における知床五湖を家族や知人に紹介したいか」のクロス表を Table16 に示す。P=0.613 となり、有意な差は示されなかった。

#### 6-13. 植生保護期における参加者年齢

**Table 17**

	10～40 代	40～70 代	合計
日本人	344	199	543
外国人	28	41	69
	372	240	

「植生保護期における参加者年齢」のクロス表を Table17 に示す。P<0.001 となり、日本人に比べ外国人の 10～40 代の参加者が有意に少なかった。

#### 6-14. 小括

ヒグマ活動期を比較したクロス表によるフィッシャーの直接確率検定では、「知床五湖への来訪回数」、「ヒグマ活動期における制度理解」、「参加者年齢」の設問で有意な差が認められた。植生保護期を比較した検定では、「知床五湖への来訪回数」、「参加者年齢」の設問で有意な差が認められた。

ヒグマ活動期、植生保護期ともに外国人の方が有意に知床五湖を訪れた経験が少ないが、これはこれまでの外国人観光客の来訪動向から予想された結果である。ただし、今後増加する可能性は十分に考えられる。

制度の認知度については、ヒグマ活動期は日本人の方が有意に多く制度を知っていたが、植生保護期では有意な差は示されず、日本人でも制度を把握していない層が存在した。ここから、特にヒグマ活動期においては外国人に対して、植生保護期においては日本人と外国人両方に対して更なる周知が必要であるといえる。

参加者年齢では外国人の方がヒグマ活動期は有意に 40～70 代が少なかった。一方、植生保護期は 10～40 代が有意に少なかった。それぞれの期で正反対の結果となったが、これについては今回の調査サンプル数が少ないことや外国人アンケート回収方法が日本国内から郵送だったことに起因する可能性も有り、詳細は訪日外国人全体などの他データの解析も必要であろう。

## 7. 外国人のヒグマへの意識

ここでは植生保護期に実施した外国人のヒグマへの意識調査を報告する。下記に日本語のアンケート票を示す。植生保護期に回収した 70 枚のうち 69 名から回答を得た。設問の語句が長いので、図表内の設問については省略して示す。

ここからはヒグマについてお伺いします。

知床の観光地でヒグマと出会った場合、以下の人間の行動は、それぞれどれくらいヒグマの行動を変えたり、人との事故を誘発したりする影響があると思いますか？当てはまる番号それぞれ1つに○をつけて下さい。

	影響は 小さい	←	どちらで もない	→	影響が大 きい
ヒグマの出没場所から長時間にわたり立ち去らない	1.	2.	3.	4.	5.
ヒグマの手の届く所に、食べ物や食べ残しを放置する	1.	2.	3.	4.	5.
車道でヒグマをみるために、車外に出る	1.	2.	3.	4.	5.
ヒグマを見るために、歩いて自分から近づく	1.	2.	3.	4.	5.
餌付けをする（意図的に餌をまく、与える）	1.	2.	3.	4.	5.
人から逃げていくヒグマを追いかける	1.	2.	3.	4.	5.
物（石、小枝など）をヒグマに向かって投げつける	1.	2.	3.	4.	5.

あなたは、以下のように知床の様々な場所でヒグマを観察する場合に、どのくらいの距離や状況なら許容できますか？当てはまる番号それぞれ1つに○をつけて下さい。

	許容で きない	←	どちらで もない	→	許容でき る
散策路や車道からヒグマを100m以内で肉眼で見る	1.	2.	3.	4.	5.
散策路や車道からヒグマから100m以上の距離をとって、肉眼や双眼鏡で見る	1.	2.	3.	4.	5.
ガイドや管理者が同行した上で、ヒグマを散策路から100m以上の距離をとって、肉眼や双眼鏡で見る	1.	2.	3.	4.	5.
車道から遠く離れた山の斜面や橋の下にいるヒグマを肉眼や双眼鏡で見る	1.	2.	3.	4.	5.
車道沿いにいるヒグマを、バスや乗用車の車窓から見る	1.	2.	3.	4.	5.
知床五湖の高架木道（高さ2～5m、電気柵あり）の上から、その下にいるヒグマを見る	1.	2.	3.	4.	5.
観光船に乗って、海の上から陸上のヒグマを見る	1.	2.	3.	4.	5.



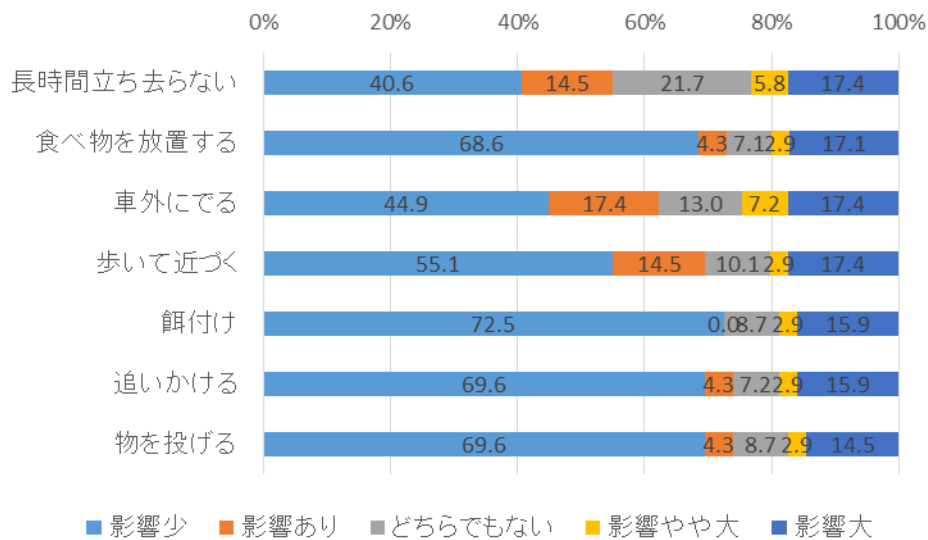


Fig. 41

「ヒグマと遭遇した際の人間側の行動について」の結果を Fig. 41 に示す。影響が少ないと考えている行為を多い順に並べると、「餌付けをする」(72.5%)、「追いかける」(69.6%)、「物を投げる」(69.6%)、「食べ物を放置する」(68.6%)、と続いた。また、いずれの行為についても影響があると考えている回答は 20%前後であった。この結果から今後、外国人に対して積極的な普及啓発を実施しないと、重大な事故を引き起こす可能性が示唆された。

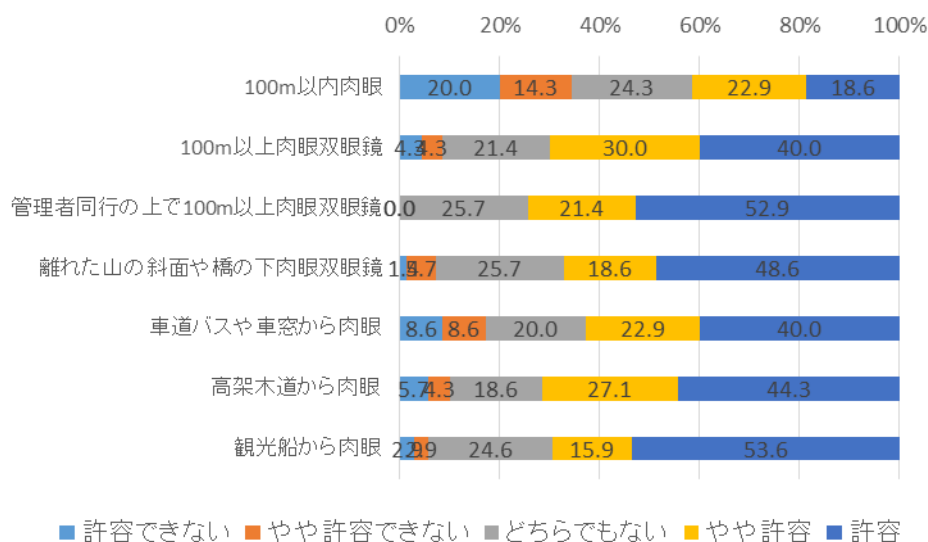


Fig. 42

「ヒグマを観察する場合に、どのくらいの距離や状況なら許容できますか」の結果を Fig. 42 に示す。他の設問に比べ「100m以内で肉眼で見る」という設問で意見が分かれた。100m以内での観察は「許容できない」、「やや許容できない」との意見が多いことから、ヒグマと近接距離に置かれる状況は危険で避けるべきだという意識が示された。一方で、100m以上離れた観察の場合は「許容できない」、「やや許容できない」が25.7ポイント減少しており、距離感により危機認識が大きく異なることが示された。

## 8. 調査結果の報告

第25回知床五湖登録引率者審査部会（11月25日）および第35回知床五湖の利用のあり方協議会（12月22日）で報告するための速報資料を作成した。さらに、第25回知床五湖登録引率者審査部会（11月25日）では報告をおこない、報告に対する登録引率者の意見のとりまとめをおこなった。それぞれの資料を下記に示す。

知床五湖登録引率者審査部会（第25回）

資料2-4

知床五湖登録引率者審査部会（第25回）

資料2-4

平成28年知床五湖の利用のあり方に関する外国人向けアンケート速報

表1

国・地域	人数	割合%	備考
台湾	65	30.2	
中国	42	19.5	
シンガポール	32	14.9	
香港	25	11.8	
韓国	19	8.7	
日本	9	2.8	
タイ	5	2.3	
フランス	5	2.3	
マレーシア	4	1.9	
アメリカ	4	1.9	
イギリス	3	1.4	
ドイツ	3	1.4	
オランダ	3	1.4	
デンマーク	3	1.4	
その他	5	2.3	ベトナム、フィリピン、ドミニカ、オーストラリア

参加者の国籍および地域を表1に示す。19の国や地域から訪れており、特にアジア圏からの来訪者が多く、全体の87.9%を占めた。ヨーロッパやアメリカからの来訪者も散見されたが、オセアニアや北米・北欧は極めて少なく、中南米やアフリカからの来訪者は、いなかった。

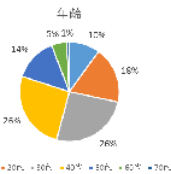


Fig.1 参加者の年齢構成

参加者の年齢構成を表1に示す。30代、40代が多く、続いて20代が続き、この世代が全体の70%を占めた。

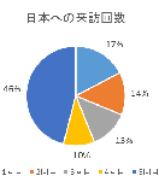


Fig.2 日本への来訪回数

日本への来訪回数をFig.2に示す。1位は5回目以上という回答で46%を占めた。また、約7割の回答者が3回以上来訪していると回答した。

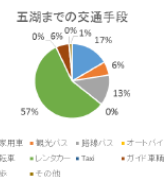


Fig.3 五湖までの交通手段

五湖までの交通手段を表3に示す。1位はレンタカーという回答で57%を占めた。次に自家用車17%、路線バス13%と続いた。設問配置の関係から、自家用車という回答にはレンタカーが含まれると推定される。

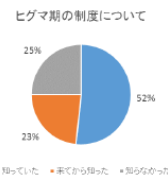


Fig.4 ヒグマ期の制度周知度

ヒグマ期の制度周知度をFig.4に示す。1位は「知床に来る前に知っていた」で52%を占めた。次に「知らなかった」25%、「知床に来てから知った」23%と続いた。過半数の来訪者が制度について知床に来る前に知っており、「知床に来てから知った」を含めると75%の来訪者が五湖にたどり着く前に制度について理解していた。

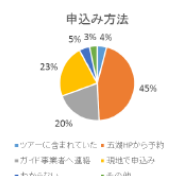


Fig.5 ツアーへの申込み方法

ツアーへの申込み方法をFig.5に示す。1位は「知床五湖HPからの予約」で45%を占めた。次に「知床五湖フィールドハウス」23%、「ガイド事業者へ連絡」20%と続いた。「わからない」は同行者（リーダー）に任せきりの層で、「その他」には知床自然センターやホテルの代行予約が含まれていた。

第25回知床五湖登録引率者審査部会での意見を示す。

- ・外国人参加者の増加については、lonelyPlanet という外国人向け旅行ガイドに知床五湖が取り上げられたことが影響しているのでは。（登録引率者代表：松田）
- ・知床五湖の制度の認知度に関する設問において、「知床に来てから制度を知った」と回答した外国人の中には、知床五湖まで来てから制度を知った、という回答者も含まれているのでは。（登録引率者代表：松田）

- ・外国人向けアンケートでは、回答者の国籍と居住国が異なることがある。設問を分けることでアジアやヨーロッパ圏から来る外国人に対して正確な集計をとる必要がある。また、分析の幅を広げるためにも設問項目の追加や細分化をおこなうべき。（登録引率者代表：松田）
- ・今回実施したアンケートでも国籍と居住地を分けて質問したが、例えば居住地の設問に国名ではなく村名で回答されるなど、狙い通りに回答してもらえないケースなども多々あった。今後の課題である。（ガイド協議会：笠井・環境省：前田）

平成 28 年度外国人向けアンケートの実施結果について（速報）

近年知床国立公園においては外国人利用者が急増しており、知床五湖地区も同様の傾向にある。参加者全体の外国人比率も増加しており、平成 26 年度の 12%から、平成 27 年度は 19%、平成 28 年度は 22%となり、今後も増加傾向が続くと考えられる。  
 知床五湖の利用のあり方に関連して、急増する外国人利用者の基礎情報を収集し、外国人利用者による評価を把握するためアンケート調査を実施した。アンケート票はヒグマ活動期 295 枚、植生保護期 70 枚を回収した。

1. 参加者の国と地域

表 1. 参加者の国と地域（ヒグマ活動期）

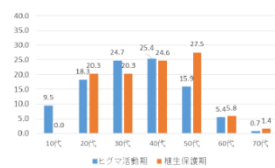
国・地域	人数	割合%	備考
台湾	79	28.9	
中国	48	18.3	
シンガポール	33	12.2	
香港	19	7.3	
イギリス	16	6.1	
韓国	12	4.6	
タイ	8	3.1	
日本	6	2.3	
アメリカ	7	2.7	
フランス	5	1.8	
ドイツ	4	1.5	
マレーシア	5	1.8	
オランダ	3	1.1	
ベルギー	3	1.1	
イタリア	3	1.1	
デンマーク	3	1.1	
オーストラリア	3	1.1	
その他	6	2.3	ロシア、アメリカ、ドイツ、シンガポール、フランス、オランダ、イタリア、デンマーク、オーストラリア

表 2. 参加者の国と地域（植生保護期）

国・地域	人数	割合%	備考
香港	15	25.4	
中国	8	13.5	
マレーシア	6	10.3	
台湾	7	11.9	
シンガポール	5	8.5	
アメリカ	4	6.8	
イギリス	3	5.1	
オーストラリア	3	5.1	
ニュージーランド	3	5.1	
ベルギー	1	1.7	
フランス	1	1.7	
インド	1	1.7	

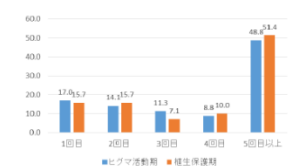
・25 の国と地域からの参加が認められた。

2. 参加者の年齢分布 (%)

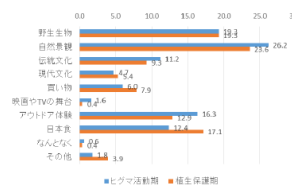


- ・日本人に比べて 60 歳以上の参加者が少なかった。
- ・来日 5 回目以上が約半数を占めた。

3. 日本への来訪回数 (%)

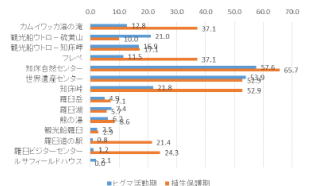


4. 日本への訪問動機 (%)

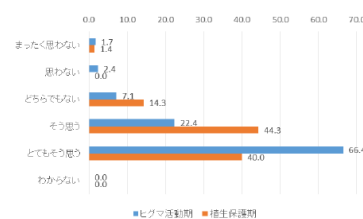


- ・自然やアウトドアを求めて日本を訪れた外国人が多い。
- ・自然センター・遺産センターはウトロ側の重要な情報発信拠点となりうる。

5. 知床で訪れたすべての場所 (%)

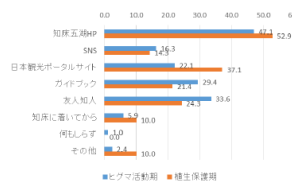


6. 知床五湖を利用した感想（原生的で静寂な場所を満喫できたか） (%)

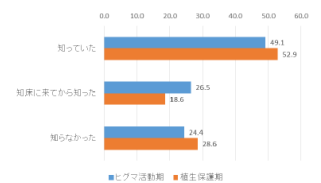


・ヒグマ活動期の「とてもそう思う」が高かった。ガイドツアーへの評価といえるかもしれない。

7. 知床五湖についての情報入手先 (%)



8. 制度に対する理解 (%)



- ・知床五湖 HP やポータルサイト等のウェブやガイドブック、知人等からの情報入手が多かった。
- ・制度を全く知らずに五湖に来た人は 2〜3 割を占めた。

## 9. 調査を終えて

今回のアンケートを終え、反省と課題を記す。まず翻訳について、プロの翻訳サービスにすべての言語の翻訳を依頼し、印刷後ではあったものの知床アルパ（株）の顧客であった外国人にもチェックしていただいた。しかし、集計中に回答に矛盾やブレを感じるものがあつた。例として、「ガイド車輜で知床五湖まで来て、受付は当日受付」という回答があつたが、ガイド車輜で五湖まで来た場合、受付は引率者の役割であり参加者が関わることはない。さらに繁体字のアンケートでは「国籍英国、居住地香港」との記載もあつた。この場合、イギリス人が漢字で国籍と居住地を記入したことになるが、香港からの参加者の中には国籍を British と記入する者もいたため判断に迷つた。また訳語が適切であつたかどうかの不安も感じた。今回は特別な処理をせずそのままのデータで集計したが、はたしてそれが適切な処理であつたかどうかは不明である。25 の国と地域の参加者から回答を得たが、多様な価値観や文化、慣習、宗教、思想などに配慮したアンケート票作成だったのか、調査だったのか、データ処理であつたかについては疑問が残る。

回収方法として、それぞれの期間で郵送による回収のほか、ヒグマ活動期はインセンティブを設け登録引率者に回収をお願いしたため、ヒグマ活動期のほとんどのアンケートは引率者経由で回収でき、約 300 枚のアンケート（集計に適さないアンケート含む）を回収できた。これにより郵送回収よりも多くのアンケートを回収できたものと思われる。一方、植生保護期は知床五湖フィールドハウスの協力を得て、地上遊歩道に入場する外国人に直接アンケートを手渡すほか、高架木道のみ参加者へも高架木道最終展望台にて直接手渡し、郵送にて回収する方法を採用した。こうした回収方法の違いから、「知床で訪れたすべての場所」という設問では回答数に差が生じた。知床五湖現地で回収した場合、その後の知床での訪問地を記入できないだけでなく、知床を訪れて最初に知床五湖に来た場合は無回答となつた。

傾向として植生保護期に比べ、ヒグマ活動期のアンケートの方が矛盾やブレが多かつた。植生保護期はアンケートに対し、「郵送でも回答したい」という意欲のある参加者が、時間に余裕を持って回答している傾向にあつたと推定されるが、ヒグマ活動期は意欲がなくとも登録引率者に記入を求められ、時間も少ない中で回答した可能性がある。登録引率者に非はないが、今後のアンケート調査では回収数をもとめずに回収方法を定めるべきかもしれない。

末筆となるが、本調査に協力いただいた登録引率者および各機関には厚く謝意を表す。

## 10. 今後の予定、その他

本業務によりとりまとめられた概要版が知床五湖の利用のあり方協議会などで示され、今後の運用改善の基礎的資料として活用される。

## 11. Summary

In recent years, the number of foreign users of Shiretoko National Park has rapidly increased, but because no questionnaires to foreigners concerning the use of Shiretoko Goko lakes in the summer have been conducted to date, we administered a questionnaire survey in the summer of 2016

The questionnaire was prepared in three languages: English, Simplified Chinese and Traditional Chinese. The questionnaire was conducted in both the previous and latter periods; 295 were collected in Bear aware season (10 MAY- 31 JUL) and 70 in Ecosystem aware season (APR-9 MAY & 1 AUG- 20 OCT).

Visitors came from 25 countries / regions. The age of visitors ranged from 20 to 50 years, and those in the Bear aware / Ecosystem aware half comprised 80% of the total. The fifth visit or higher to Japan comprised 50% of visits in both the Bear aware season and Ecosystem aware season halves. The top two motivations for visiting to Japan were "seeing natural landscapes" and "watching wildlife," and there were many visitors who came for the purpose of enjoying nature or the outdoors. The top two places visited in Shiretoko were the "Shiretoko Nature Center" and "Shiretoko world Heritage Center," and these two bases acted as information dissemination hubs. In response to the question of whether Shiretoko Goko lakes could be enjoyed in its natural beauty in peace, many persons responded during the Bear aware season, in which guided tours are required, that they "extremely agree," which may be considered an evaluation of the guided tours.

Regarding information on where information concerning Shiretoko Goko lakes was obtained, "Shiretoko Goko Official web site" was the most frequent response. Regarding degree of understanding of the Shiretoko Goko system, approximately half was noted in both the Bear aware season and Ecosystem aware season half.



リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に関わる判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔A ランク〕のみを用いて作成しています。